

【資料2】 分析結果：各「調整箇所」の「待遇表現行為」の例

「調整箇所1 話し始め」に見られた「待遇表現行為」

・「やりとりの管理」に関わる相互行為

行為の開始	：「働きかけ主体」／「行動主体」
相互行為	：電話が通話しているか確認し合う
待遇効果	：会話の「場」を相互で確認することでやりとりが安定する
典型例：	
「働きかけ主体」	：「もしもし」と通話しているか確認する
「行動主体」	：「もしもし」と通話しているのを確認する

・「働きかけ主体」から始める場合

- 会話2 (Y1-F1)  
「働きかけ主体」：「もしもし」と通話しているか確認する  
「行動主体」：「もしもし」と通話しているのを確認する
- 会話3 (U1-E1)  
「働きかけ主体」：「もしもし」と通話しているか確認し合う  
「行動主体」：「もしもし」と通話しているのを確認する
- 会話5 (F1-Y1)  
「働きかけ主体」：「もしもし」と通話しているか確認する  
「行動主体」：「もしもし」と通話しているのを確認する
- 会話8 (T1-B1)  
「働きかけ主体」：「もしもし」と通話しているか確認し合う  
「行動主体」：「もしもし」と通話しているのを確認する
- 会話10 (M1-Z1)  
「働きかけ主体」：「もしもし」と通話しているか確認し合う  
「行動主体」：「もしもし」と通話しているのを確認する
- 会話11 (R1-H1)  
「働きかけ主体」：「もしもし」と通話しているか確認し合う  
「行動主体」：「もしもし」と通話しているのを確認する
- 会話12 (P1-G1)  
「働きかけ主体」：「もしもし」と通話しているか確認し合う  
「行動主体」：「もしもし」と通話しているのを確認する
- 会話13 (H1-R1)

「働きかけ主体」:「もしもし」と通話しているか確認し合う

「行動主体」 : 「はい」と応答する

■ 会話14 (N1-K1)

「働きかけ主体」:「もしもし」と通話しているか確認する

「行動主体」 : 「もしもし」と通話しているのを確認する

■ 会話19 (a1-b1)

「働きかけ主体」:「もしもし」と通話しているか確認し合う

「行動主体」 : 「もしもし」と通話しているのを確認する

▲ 会話9

「働きかけ主体」:「もしもし」と通話しているか確認する

「行動主体」 : 名乗る

▲ 会話15 (L1-N1)

「働きかけ主体」:「はい」と応答する

「行動主体」 : 「もしもし」と通話しているのを確認する

・「行動主体」から始める場合

■ 会話1 (K1-N1)

「行動主体」 : 「もしもし」と通話しているのを確認する

「働きかけ主体」:「もしもし」と通話しているか確認する

■ 会話4 (A1-S1)

「行動主体」 : 「もしもし」と通話しているか確認する

「働きかけ主体」:「もしもし」と通話しているのを確認する

■ 会話6 (H1-X1)

「行動主体」 : 「もしもし」と通話しているか確認する

「働きかけ主体」 : 「もしもし」と通話しているのを確認する

■ 会話7 (J1-K1)

「行動主体」 : 「もしもし」と通話しているのを確認する

「働きかけ主体」:「もしもし」と通話しているか確認する

■ 会話20 (d1-c4)

「行動主体」 : 「もしもし」と通話しているのを確認する

「働きかけ主体」:「もしもし」と通話しているか確認する

▲ 会話18 (D1、1-C1、2)

「行動主体」 : 名乗る

「働きかけ主体」:「もしもし」と通話確認する+名乗る

「行動主体」 : 了解する

・「相互の人間関係のつながり」に関する相互行為

行為の開始	: 「働きかけ主体」 / 「行動主体」
相互行為	: 相互に相手を確認しあう
待遇効果	: 会話における人間関係が調整される
典型例:	
「働きかけ主体」:	「～さん？」と相手を確認する・「～ですけど」と名乗る
「行動主体」:	「はい」と了解する

・「働きかけ主体」から始める場合

- **会話 1** (N 2、3-K 3、4)  
「働きかけ主体」: 「(相手の名前) ちゃん？」と相手を確認する  
「行動主体」: 「はいはいー」と了解する  
「働きかけ主体」: 「(自分の名前) でーす」と名乗る  
「行動主体」: 「はいはいー」と了解する
- **会話 6** (X 1-H 2)  
「働きかけ主体」: 「Hちゃん？」と確認する  
「行動主体」: 了解する
- **会話 7** (J 2~K 4)  
「働きかけ主体」: 「あの I Nですけど」と名乗る  
「行動主体」: 「はいはい」と了解する
- **会話 8** (H 3-W 3)  
「働きかけ主体」: 「Wさんですか」と相手を確認する  
「行動主体」: 「はい」と了解する
- **会話 1 1** (R 2-H 2)  
「働きかけ主体」: 「あ、Hさんですか」と相手を確認する  
「行動主体」: 「おう」と了解する
- **会話 1 2** (P 2、3-G 3、4)  
「働きかけ主体」: 「Pですけど」と名乗る  
「行動主体」: 「はい」と了解する  
「働きかけ主体」: 「Gですか」と相手を確認する  
「行動主体」: 「はい」と了解する
- **会話 1 3** (H 2-R 2、3)  
「働きかけ主体」: 相手の名前を「R？」呼んで相手を確認する  
「行動主体」: 相手の名前を「Hさん」と呼んで確認する+ 「はい」で了承する
- **会話 1 4** (Z 2~M 2)

「働きかけ主体」：「Zですけど」と名乗る

「行動主体」：「はい」と了解する＋「こんにちは」と挨拶する

「働きかけ主体」：相手を確認する＋名乗る

「行動主体」：「はい」と了解する＋「こんにちは」と挨拶する

● 会話15 (N2～K4)

「働きかけ主体」：「Iさん？」と相手を確認する

「行動主体」：「はい」と了解する

「働きかけ主体」：「Nですがー」名乗る

● 会話19 (b1-a2)

「働きかけ主体」：「bですー」と名乗る

「行動主体」：「はい」と了解する

● 会話20 (N2、3-K3、4)

「働きかけ主体」：「(相手の名前)ちゃん？」と相手を確認する

「行動主体」：「はいはいー」と了解する

「働きかけ主体」：「(自分の名前)でーす」と名乗る

「行動主体」：「はいはいー」と了解する

▲ 会話2 (Y1-F1)

「働きかけ主体」：「F？」と相手の名前を呼んで相手を確認する

「行動主体」：「もしもし？」で答える

・「行動主体」から始める場合

● 会話3 (U1-E2)

「行動主体」：「Uでーす」と名乗る

「働きかけ主体」：「あ、はい」と了解し、「Eでーす」と名乗る

● 会話9 (T1-B2)

「行動主体」：「Tでーす」と名乗る

「働きかけ主体」：「あ、あの一Bですが」と名乗る

● 会話17 (X1-O1)

「行動主体」：「はい(会社の名前)です」と名乗る

「働きかけ主体」：「あ、Oです」と名乗る

● 会話18 (D1、1-C1、2)

「行動主体」：「はい、Dでございます」と名乗る

「働きかけ主体」：「もしもし」と通話確認する＋「あの一Cですけども」と名乗る

行為の開始 : 「働きかけ主体」 / 「行動主体」

相互行為 : 挨拶し合う

待遇効果 : 相互に関係がつながる

典型例 :

「働きかけ主体」 : 挨拶する

「行動主体」 : 挨拶する

・「働きかけ主体」から始める場合

● 会話3 (E 2 - U 2)

「働きかけ主体」 : 「こんにちは」と挨拶する

「行動主体」 : 「こんにちは」と挨拶する

● 会話4 (A 2 - S 2)

「働きかけ主体」 : 「どうもー」と挨拶する

「行動主体」 : 「どもども」と挨拶する

● 会話7 (E 2 - U 2)

「働きかけ主体」 : 「こんにちは」と挨拶する

「行動主体」 : 「こんにちは」と挨拶する

● 会話9 (T 2 - B 2)

「働きかけ主体」 : 「どもども」と挨拶する

「行動主体」 : 「どもども」と挨拶する

● 会話15 (L 4 - N 4)

「働きかけ主体」 : 「こんにちはー」と挨拶する

「行動主体」 : 「どーもー」と挨拶する

▲ 会話20 (c 6 - d 4)

「働きかけ主体」 : 「おはようございます」と挨拶する

「行動主体」 : (なし)

・「行動主体」から始める場合

● 会話17 (X 2 - O 2)

「行動主体」 : 「あ、ども」と挨拶する

「働きかけ主体」 : 「あ、ども」と挨拶する

● 会話19 (a 2 - b 2)

「行動主体」 : 「こんにちは」と挨拶する

「働きかけ主体」 : 「こんにちは」と挨拶する

行為の開始 : 「働きかけ主体」  
相互行為 : 久しぶりに会うことを確認する  
待遇効果 : 相互に関係がつながる  
典型例 :  
「働きかけ主体・行動主体」: 「久しぶり」で相手と久しぶりに会ったことを表す  
「働きかけ主体・行動主体」: 「久しぶり」と受け入れる

● **会話6** (X2-H2)

「働きかけ主体」: 「久しぶり」と言う

「行動主体」: 「久しぶり」と受け入れる+<笑い>

行為の開始 : 「働きかけ主体」  
相互行為 : 「働きかけ主体」が「お世話になります」と常日頃の「行動主体」の恩恵に感謝する  
待遇効果 : 相手と人間関係がつながる  
典型例 :  
「働きかけ主体」: 「お世話になります」と常日頃の恩恵に感謝する  
「行動主体」: 「お世話になります」と常日頃の恩恵に感謝する

● **会話17** (X2-O2)

「働きかけ主体」: 「お世話になります」と挨拶する

「行動主体」: 「お世話になります」と挨拶する

・ **会話における「場」の安定に関わる表現行為**

行為の開始 : 「働きかけ主体」  
相互行為 : 「行動主体」が今話しても大丈夫な状況かどうか確認する  
待遇効果 : 相手の状況が尊重される  
典型例 :  
「働きかけ主体」: 「今大丈夫？」と相手の状況を確認する  
「行動主体」: 「うん大丈夫」で自分の状況を保証する

● **会話2** (Y2-F2)

「働きかけ主体」: 「今大丈夫？」と相手の状況を確認する

「行動主体」: 「うん大丈夫」で自分の状況を保証する

● **会話3** (E2-U2)

「働きかけ主体」: 「今大丈夫？」と相手の状況を確認する

「行動主体」: 「今大丈夫」と状況を保証する

● **会話5** (Y2-F2)

「働きかけ主体」：「今大丈夫？」と相手の状況を確認する

「行動主体」：「うん大丈夫」で自分の状況を保証する

● **会話7** (K 3～7－J 4～8)

「働きかけ主体」：「今どこにいるの？」「今日何もないの？」と相手の状況を確認する

「行動主体」：「今いえです」「3時から先生の手伝いとインタビュー」と自分の状況を保証する

「働きかけ主体」：「えらい」と相手をほめる

「行動主体」：「たいへんですよ」と苦情で受け入れる

● **会話10** (M 2－Z 2)

「働きかけ主体」：「今平気ですか？」と相手の状況を確認する

「行動主体」：「あ、大丈夫だよ」で自分の状況を保証する

● **会話17** (O 3、4－X 4、5)

「働きかけ主体」：「今大丈夫ですか」と相手の状況を確認する

「行動主体」：「はい、大丈夫です」と自分の状況を保証する

● **会話20** (c 6、c 7－d 4、5)

「働きかけ主体」：「今ちょっとお話できますか」と相手の状況を確認する

「行動主体」：「大丈夫」と了解する

▲ **会話11** (H 2－R 3)

「行動主体」：「どうしたの」と働きかけを促す

「働きかけ主体」：「すみません、いきなり電話して」と謝罪する

「行動主体」：「うん」と了解する

▲ **会話13** (H 3－R 4)

「働きかけ主体」：「わるい」と「謝罪」し、「今時間いい？」と相手の状況を確認する

「行動主体」：「どうしたんですか」と働きかけを促す

**S 2**

行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」

相互行為：笑い合う

待遇効果：会話の「場」をカジュアルに変容させる。「冗談モード」にする

優先的応答例：

「働きかけ主体」／「行動主体」：笑う

「行動主体」／「働きかけ主体」：笑う

● **会話5** (F 4～F 6)

「働きかけ主体」：「あの一」「えっと一」で言いよどむ

「行動主体」：「何？」「どうしたの？＋＜笑い＞」と「働きかけ主体」の「働きかけ」を促す

▲**会話5** (F 6 - Y 6)

「働きかけ主体」：「てほしいんですけど」と働きかける＋＜笑い＞

「行動主体」：「え」と驚き、「なんで？」と「働きかけ」の理由を聞く（「当然性」の認識の低さによる働きかけの不成立）

▲**会話12** (R 11 - H 11)

「働きかけ主体」：「教えていただきたいんですけど」と恩恵を伴って働きかける

「行動主体」：「やだ」と否定する＋＜笑い＞

●**会話14** (Z 5 - M 5)

「働きかけ主体」：「てほしいんですけど」＋＜笑い＞で働きかける

「行動主体」：「そう思った」＋＜笑い＞と相手の依頼を予期していたことを表す

**「調整箇所2 意図の伝達・理解」に見られる「待遇表現行為」**

・「やりとりの管理」に関わる相互行為

行為の開始	: 「働きかけ主体」
相互行為	: 「あのね」と促しに移行することを示す
待遇効果	: 会話の展開がわかりやすくなり、負担が軽減される（会話管理）
典型例:	
「働きかけ主体」:	「あの」で働きかけを開始する

- **会話1** (N 4) 「働きかけ主体」: 「あのさー」と促しを始める
- **会話2** (Y 3) 「働きかけ主体」: 「あのね」で促しを開始する
- **会話3** (E 4) 「働きかけ主体」: 「ちょっと」と促しを始める
- **会話4** (S 3) 「働きかけ主体」: 「あのさ」で促しを開始する
- **会話5** (F 3) 「働きかけ主体」: 「あのね」で促しを開始する
- **会話6** (X 3) 「働きかけ主体」: 「ちょっとさ」と促しを始める
- **会話7** (K 8) 「働きかけ主体」: 「でさ」「ところでね」で促しを開始する
- **会話8** (H 4) 「働きかけ主体」: 「あのさ」で促しを開始する
- **会話9** (F 3) 「働きかけ主体」: 「あの」で促しを開始する
- **会話11** (R 4) 「働きかけ主体」: 「あのですね」で促しを開始する
- **会話12** (P 4) 「働きかけ主体」: 「あのね」で促しを開始する
- **会話12** (P 8) 「働きかけ主体」: <咳>＋「あのね」で促しを開始する
- **会話13** (H 9) 「働きかけ主体」: 「あのさ」で促しを開始する
- **会話14** (Z 3) 「働きかけ主体」: 「あのさあ」＋＜笑い＞で促しを開始する
- **会話15** (N 4) 「働きかけ主体」: 「あのー」で促しに入る



- 会話17 (O5) 「働きかけ主体」: 「あの」で促しを開始する
- 会話19 (b2) 「働きかけ主体」: 「あのね」で促しを開始する

・「働きかけと働きかけられ」に関わる相互行為

行為の開始	: 「働きかけ主体」
相互行為	: 「お願いがあるんだけど」と「働きかけ」を予告して容認し合う
待遇効果	: 会話の意図が明らかになり「働きかけ」の負担が軽減される
典型例:	
	「働きかけ主体」: 働きかけを予告する
	「行動主体」: 了解する

- 会話3 (E5-U5)
  - 「働きかけ主体」: 「お願いがあるんだけど」と会話の意図を明らかにする
  - 「行動主体」: 「はい」と了解する
- 会話6 (X4-H5)
  - 「働きかけ主体」: 「お願いがあるんだけど」と会話の意図を明らかにする
  - 「行動主体」: 「はい」と了解する
- 会話9 (T3-B3)
  - 「働きかけ主体」: 「お願いがあるんだけど」と会話の意図を明らかにする
  - 「行動主体」: 「はい」と了解する
- 会話12 (P5、6-G6~7)
  - 「働きかけ主体」: 働きかけが「忠告」という意図であることを予告する
  - 「行動主体」: 「はい」と了解する
- 会話12 (P7-G8)
  - 「働きかけ主体」: 「働きかけ」は「行動主体」だけでなく、「行動主体」が属する「4年生」というグループに向けた「忠告」であることを表す
  - 「行動主体」: 「はい」と了解する
- 会話15 (N4-L5)
  - 「働きかけ主体」: 「ちょっとお願いしたいことがあるんだけど」と会話の意図を明らかにする
  - 「行動主体」: 「はい」と了解する
- 会話17 (O8-X9)
  - 「働きかけ主体」: 「あるシチュエーションを取ってほしいんですけど」とこの会話の意図を明らかにする
  - 「行動主体」: 了解する
- 会話18 (C6-D7、8)

「働きかけ主体」：「行動条件」について詳しくは後で打ち合わせしたいと言う

「行動主体」：了解する

● **会話19** (b2-a3)

「働きかけ主体」：「お願いがあるんだけど」と会話の意図を明らかにする

「行動主体」：了解する

● **会話20** (c8-d6)

「働きかけ主体」：「ちょっとお願いがあるんだけど」と会話の意図を明らかにする

「行動主体」：「はい」と了解する

行為の開始	：「行動主体」
相互行為	：「 <u>行動主体</u> 」から「どうしたんですか」と「働きかけ」を促す
待遇効果	：「働きかけ」の負担が軽減される
典型例：	
	(「働きかけ主体」：「あの一」「えっと一」と言いよどむ)
「行動主体」	：「どうしたの」と働きかけを促す
「働きかけ主体」	：働きかけを始める

● **会話1** (K4-N5)

「行動主体」：「何？」と「働きかけ主体」の「働きかけ」を促す

「働きかけ主体」：「あのさ一」と「働きかけ」を始める(会話管理)

「働きかけ主体」：「頼みたいことがあるんだけど」と会話を始めた意図を明示する

「行動主体」：「うんうん」と「働きかけ主体」の会話の意図を理解する

● **会話3** (U3-E4)

「行動主体」：「行動主体」から「どうしたの？」と「働きかけ主体」の働きかけを促す(「働きかけ」の負担が軽減する)

「働きかけ主体」：「ちょっと」と働きかけを始める(会話管理)

● **会話5** (F4~F6)

「働きかけ主体」：「あの一」「えっと一」で言いよどむ(「当然性」の低さを示す)

「行動主体」：「何?」「どうしたの?+<笑い>」と「働きかけ主体」の「働きかけ」を促す(「働きかけによる負担を軽減する」)

● **会話6** (H6~X6)

「行動主体」：「何？」と「働きかけ主体」の「働きかけ」を促す

「働きかけ主体」：明示的な依頼表現で「働きかけ」を始める

● **会話13** (R4、5-H4)

「行動主体」：「どうしたんですか」と働きかけを促す

「働きかけ主体」：「んとさ」で働きかけを開始する

「行動主体」：受け入れる

● **会話15** (N5、6-L6)

「働きかけ主体」:「今大丈夫ですか?」と相手の状況を確認する

「行動主体」:「はいはい」で自分の状況を保証する+「どうぞー?」で働きかけを促す

「働きかけ主体」:「うん、あの一」と「働きかけ」を始める

行為の開始 :「働きかけ主体」

相互行為 :「突然なんだけど」と「働きかけ」を低く評価する

待遇効果 :「働きかけ」の負担が軽減される

典型例:

「働きかけ主体」:「突然である」「急ぎの用件ではない」「たいしたことではない」と「働きかけ」を低く評価する

「行動主体」:受け入れる

● **会話6** (X5-H6)

「働きかけ主体」:「突然でびっくりするかもしれない」と働きかけが突然であることを表す

「行動主体」:受け入れる

● **会話7** (K9-J10)

「働きかけ主体」:「突然なんだけど」と言う

「行動主体」:了解する

● **会話10** (M3-Z3)

「働きかけ主体」:「行動前提」として「急ぐことではないんですが」と用件が急ぎではないことを表す

「行動主体」:受け入れる

● **会話11** (R6-H6)

「働きかけ主体」:「頼みというか」で会話の意図を明らかにしつつ、「あまりたいしたことじゃないんですけど」と用件の負担が軽いことを示す

「行動主体」:受け入れる

・「行動前提の伝達と理解」に関わる表現行為

行為の開始 :「働きかけ主体」

相互行為 :「行動前提」について具体的に確認し、「当然性」を固める

待遇効果 :「働きかけ」の負担が軽減される

典型例:

「働きかけ主体」:相手の置かれた最近の状況について情報確認する

「行動主体」：確認する

● 会話2 (Y5-F5)

「働きかけ主体」：「あんた忙しいのすっごいわかっているのね」と「行動前提」として「行動主体」の最近の状況を理解していることを表す

「行動主体」：受け入れる

● 会話13 (H5~H8-R6~9)

「働きかけ主体」：相手の「行動前提」として「最近忙しい?」と何度も聞く

「行動主体」：「時間を作れって言われたら作る」と「働きかけ」を予想して状況を保証する

▲ 会話5 (F7~9-Y6~9)

「行動主体」：「今、学校?」と相手の置かれている状況を確認する

「働きかけ主体」：いいよどむ

「行動主体」：「(財布を) 忘れた?」と相手の「行動前提」を予測する

「働きかけ主体」：「今、家…」と言いいどむ(前のY6の質問に隣接して答えようとしている)

「行動主体」：相手の言葉を反復して聞き返す

「働きかけ主体」：了解する

「行動主体」：相手の状況を了解する

▲ 会話7 (K18-J20)

「働きかけ主体」：「その本は個人で入手できないものなのか」という「行動前提」について情報要求する

「行動主体」：「どうかな」とわからないことを表す

● 会話7 (K19~24-J21~26)

「働きかけ主体」：(その本は)配ってないのかという「行動前提」について情報要求する

「行動主体」：「配ってない」について情報提供する

▲ 会話7 (K24-J27)

「働きかけ主体」：「行動前提」として、「働きかけ主体」が「ほしい物」を「行動主体」はもっているかどうか情報要求する

「行動主体」：「行動主体」が「ほしい物」は持っていないことを示す

▲ 会話7 (K27-J30)

「働きかけ主体」：「行動前提」について「(本は)もらえないの?」と情報要求し、「ほしいんだけど」と自分の願望を表す

「行動主体」：「わからない」といってわからないことを表す

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「行動前提」として行動の必然、緊急性、必要性を確認し、「当然性」を高める

待遇効果：「働きかけ」の負担が軽減される

典型例：

「働きかけ主体」：「行動前提」としてその行動は必然である、緊急である、必要であると評価して伝える

「行動主体」：受け入れる

● **会話3** (E7～12-U9～11)

「働きかけ主体」：「行動前提」について、自分には他にしなければならないことがあ  
って、自分が行動できないことを示す

「行動主体」：受け入れる

「働きかけ主体」：「行動前提」について「会社関係の人と食事する」とフォーマルな  
用事であることを情報提供する

「行動主体」：受け入れる

● **会話5** (F12, 13-Y13)

「働きかけ主体」：「行動前提」について「もうすぐ」と緊急であることを示す

「行動主体」：「行動前提」について「今～なければならないのか」と緊急で在る  
ことを確認する

● **会話8** (H8～11-E8～11)

「働きかけ主体」：「行動前提」として、自分がどうしても行動できない理由を情報提  
供する

「行動主体」：受け入れる

● **会話10** (M4～M7-Z7)

「働きかけ主体」：「行動前提」について「携帯の調子が悪い」ことを情報提供し、必  
要な行動について「～かなと思うんですけど」と自分の考えを表  
す

「行動主体」：働きかけられる前に「行動主体」が「行動条件」の中の「何を  
する」を予測して「見に行く」と表す

● **会話11** (R7～9-H7～9)

「働きかけ主体」：「行動前提」として「やらされている」と自分が不本意だと思っ  
ている状況にいることを表す

「行動主体」：受け入れる

● **会話18** (C7～11-D9～13)

「働きかけ主体」：「行動前提」としてその行動は必然である、緊急である、必要であ  
ると評価して伝える

「行動主体」：受け入れる

▲**会話1** (N 8、9-K 8、9)

「働きかけ主体」：「行動条件」の一つ「何を行動するか」についてその行動が必要であると表す+行動する人の行動を「してもらえる」と恩恵を伴って表す

「行動主体」：相手の言葉を繰り返して確認する

「働きかけ主体」：「そうそう」と了解する

▲**会話5** (F 10、11-Y 11、12)

「働きかけ主体」：「行動前提」について「なければいけない」と必然性を示す

「行動主体」：「え」と驚き、「なにに、ちょっと待って話が読めない」と「行動前提」について情報要求する

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：すでに共有しているはずの「行動前提」を確認して「当然性」を固める

待遇効果：働きかけの負担が軽減される

典型例：

「働きかけ主体」：「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認する

「行動主体」：了解する

●**会話1** (N 7-K 8)

「働きかけ主体」：「ほら」「あの」「じゃない?」で「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認する

「行動主体」：了解する

●**会話2** (Y 3-F 3)

「働きかけ主体」：「やっぱ」「前から」「やん(じゃない)」で「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動条件」を確認する

「行動主体」：了解する

●**会話4** (S 5-A 5)

「働きかけ主体」：「～じゃない?」で「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認する

「行動主体」：了解する

●**会話7** (K 13~17-J 18)

「働きかけ主体」：あ系の指示語(例：あの本)を使って相手と共有しているはずの「行動条件」を確認する

「行動主体」：了解する

●**会話8** (H 5-W 7)

「働きかけ主体」：「じゃん」で「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動条件」を思い出させて確認する

「行動主体」：了解する

● **会話 9** (T 5 - B 5)

「働きかけ主体」：「例のあの」「～じゃないですか」で「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認する

「行動主体」：了解する

● **会話 1 1** (R 5 - H 5)

「働きかけ主体」：「～じゃないですか」で「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認する

「行動主体」：了解する

● **会話 1 2** (P 9 ~ 1 1 - G 1 0 ~ 1 2)

「働きかけ主体」：「行動主体」と共有しているはずの「行動前提」を思い出させて確認する

「行動主体」：「そうですね」「はい」で了解する

● **会話 1 3** (H 1 0、1 1 - R 1 1、1 2)

「働きかけ主体」：「～じゃない？」で「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認する

「行動主体」：了解する

● **会話 1 4** (Z 4 - M 4)

「働きかけ主体」：「～じゃん」で「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認する

「行動主体」：了解する

▲ **会話 1 5** (N 6 ~ N 8 - L 8)

「働きかけ主体」：「私が今やってる修士論文の作文のやつ」と相手と共有しているはずの情報を確認する

▲ 「行動主体」：「働きかけ主体」が出した「作文」を「上級の作文」を言い換えて情報を共有して「ですね」と確認する

「働きかけ主体」：「うん」と同意する

● **会話 1 5** (N 9 - L 9)

「働きかけ主体」：「じゃないですか」で相手と共有しているはずの「行動条件」を確認する

「行動主体」：「はい」と了解する

● **会話 1 6** (V 1 - T 1)

「働きかけ主体」：「例のあの」で「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認する

「行動主体」：了解する

● 会話16 (V2-T2)

「働きかけ主体」：「働きかけ主体」の過去の行動について「してくれたでしょ」と思  
恵を示しながらお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認  
する

「行動主体」：「はんはん」と了解する

● 会話16 (V3-T3)

「働きかけ主体」：お互いが共有しているはずの「行動前提」について「でしょ」「よ  
ね」と確認する

「行動主体」：「うん」「そう」と了解する

● 会話16 (V54-T55)

「働きかけ主体」：あ系の指示語(あのカメラ)で相手と共有しているはずの「行動条  
件」を確認する

「行動主体」：了解する

● 会話16 (V55~59-T61、62)

「働きかけ主体」：「行動前提」を話すとき、お互いが共有しているはずの情報を「で  
しょ」「よね」と確認する

「行動主体」：「うん」「ソニーとかね?」と例を挙げて了解する

▲ 会話16 (V62~66-65~69)

「働きかけ主体」：お互いが共有しているはずの「行動前提」について「そうでもない  
の?」と確認する

「行動主体」：「わからない」と自分に知識がないことを示す

● 会話16 (V70~76-T73~78)

「働きかける主体」：お互いが共有しているはずの「行動前提」について「そうなん  
でしょ?」と確認する

「行動主体」：「使い方次第なんじゃないかな」と条件付きで自分の考えを述  
べて確認する

「働きかけ主体」：「うん」と了解する

● 会話17 (O5~9-X6~X10)

「働きかけ主体」：どのような写真撮影をお願いしようと思っているかについて、「例  
の」「以前撮って頂いたじゃないですか」で「行動主体」にお互いが  
共有しているはずの「行動前提」を思い出させて確認する

「行動主体」：了解する

● 会話18 (C3~5-D4~6)

「働きかけ主体」：お互いが共有しているはずの「行動前提」としての具体的事実を確  
認する。この場合、夕方に両者が出席する打合せについて、「すみ



ませんが、お願いします」と依頼しながら確認をとる。

「行動主体」：了解する

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「行動前提」としてある自分の願望、意思、判断を表すことで「当然性」を提示し、それが容認される

待遇効果：相手の願望、意志、判断が尊重される

典型例：

「働きかけ主体」：「行動前提」として自分の願望や意思を表す

「行動主体」：受け入れる

● **会話2** (Y4-F4)

「働きかけ主体」：「行動前提」として「～たいの」と自分の願望を表す

「行動主体」：受け入れる

● **会話15** (N11-L11)

「働きかけ主体」：「行動前提」として「～がやりたい」という自分の願望を表す

「行動主体」：「ふんふん」と受け入れる

● **会話11** (R10-H10)

「働きかけ主体」：「行動前提」として「勉強しなければならないと思っている」と自分の意思を強く表す

「行動主体」：受け入れる（「当然性」の確認）

▲ **会話6** (X9~12-H15)

「働きかけ主体」：「行動前提」として、他の人と「知り合いたい」という話になったという願望を述べる

「行動主体」：「え」と受け入れない

▲ **会話12** (P12~14-G15)

「働きかけ主体」：「行動前提」について、「実験で使った物は元のたなに戻すはずなのに、今みんな緩慢になってきている」と、現状の問題点について自分の判断を表す

「行動主体」：「、そーですかね」と疑問を表す(相手の考えを容認しない)

▲ **会話20** (c9、10-d7)

「働きかけ主体」：「～たいんですね」と自分の願望を述べる

「行動主体」：「日本人のビジネスマン？」とわからない点を繰り返して確認する

・「行動条件の伝達と理解」に関わる表現行為

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「行動条件」について具体的な情報を提供する

待遇効果 : 「行動」の負担が軽くなる

典型例 :

「働きかけ主体」: 「行動条件」の中の一つの項目について情報提供する

「行動主体」 : 了解する

● **会話4** (S3-A3)

「働きかけ主体」: 「行動条件」の一つである「曜日」について情報提供する

「行動主体」 : 受け入れる

● **会話12** (P37~39-G38~39)

「働きかけ主体」: 「行動前提」として「いつ」しているか質問する

「行動主体」 : 「行動前提」はすでに実行されていることを表す

● **会話16** (V1-T1)

「働きかけ主体」: 「行動条件」の一つである「何(この場合「パソコンに関すること」)」について情報提供する

「行動主体」 : 受け入れる

▲ **会話1** (N5-K6)

「働きかけ主体」: <笑い>+ 「行動条件」の一つである「関係者」について情報提供する

「行動主体」 : 言葉を反復して聞き返す

▲ **会話5** (F16-Y16)

「働きかけ主体」: 「行動条件」の中から「内容(この場合「借りるお金の値段」)」について情報提供する

「行動主体」 : 「え」と驚き、「5000円?」と相手の言葉を反復して「行動前提」について情報要求する

● **会話6** (X13-H16)

「行動主体」 : 他の言葉に言い換えて確認する

「働きかけ主体」: 問題となっている「行動条件」(この場合「だれ」)について他の言葉に言い換えて情報提供する

「行動主体」 : 「うーん」と受け入れない

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「行動条件」について主観的な評価(負担が軽減されるような)を伴って情報を確認し合って「当然性」を固める

待遇効果 : 「行動」の負担が軽くなる

典型例 :

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つの項目について主観的な評価（大小、良い悪い等）を伴って情報供する

「行動主体」：受け入れる

● **会話2** (Y 6 - F 6)

「働きかけ主体」：「行動条件」の一つである「期限」について、「～しか」と限られた短い期間であることを表す

「行動主体」：受け入れる

**「調整箇所3 働きかけと否定的マーク」に見られる「待遇表現行為」**

・「働きかけと働きかけられ」に関わる相互行為

▲は非優先的応答を表しているため、否定的マークを意味する。働きかけに対して非優先的応答になっている場合、「隣接ペア崩し」となり、有標 (marked) =何か問題がある、ということになる。

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「働きかけ主体」が明示的に働きかけて「行動主体」に容認され、「当然性」の高さが確認される→「隣接ペア崩し」になると否定的マーク

待遇効果 : 「働きかけ」の負担がかかる

典型例 :

▲ 「働きかけ主体」：働きかける

「行動主体」：うーん（否定的な反応、マーク）

▲ **会話2** (Y 1 4 - F 1 3)

「働きかけ主体」：<笑い>+「これは無理なお願いですか？」と明示的に依頼する

「行動主体」：「えっ」で否定的なマーク+「行動条件」の中の「場所」について確認する

▲ **会話3** (E 1 3 ~ U 1 2)

「働きかけ主体」：恩恵+仮定（「たらいいんだけど」）で働きかける

「行動主体」：言いよどみ

▲ **会話4** (S 8 - K 2 6)

「働きかけ主体」：「～てもらえるとたすかるんだけど」と、恩恵と「助かる」という表現で働きかける

「行動主体」：「えっ」と驚いて問題となる「行動条件（この場合「曜日」）を繰り返す

▲ **会話4** (S 1 1 - K 2 6)

「働きかけ主体」：「AかBか」、「もし都合がよかったらと思ったんだけどどんな感じ？」と「行動主体」に都合が良い「行動条件」を情報要求する

(「行動」による負担の軽減)

「行動主体」：「うーん」と言いよどむ

「働きかけ主体」：「だめだったら」と「働きかけ主体」が「行動主体」の「断り」を先取りする

▲**会話12** (P 16～19-G 20、21)

「働きかけ主体」：「～してほしいということをお願いしたいんだけど」と働きかける

「行動主体」：「行動条件」のうち「行動の内容」がすでに実行されていることを表す

▲**会話12** (P 27-G 28)

「働きかけ主体」：「試薬とかななくなったらすぐ作る」と命令(指示)行為で働きかける

「行動主体」：働きかけられた行為(試薬をすぐ作る)には「作り方がわからない」という原因があって行動することができないことを表す

▲**会話12** (P 44～49-G 50～2)

「働きかけ主体」：「もしかして～すると、～の方がいいんだけど」と「行動条件」を仮定する

「行動主体」：「行動条件」としての「いつ」はすでに実行されていることを表す

▲**会話13** (H 13-R 14)

「働きかけ主体」：「くれない↑」+<笑い>で明示的に働きかける(冗談を伴って働きかける)

「行動主体」：<笑い>(冗談だけ)

▲**会話15** (F 19、20-Y 19、20)

「行動主体」：会話の最初F 6で出た明示的な「働きかけ」を言い換えて確認する(依頼を先取る)

「働きかけ主体」：「そう」と了解し、「5000円、貸してほしい」と明示的に働きかける

「行動主体」：「行動条件」の中の一つ「何(この場合「5000円」)」について、「(5000円)私もないもん」と情報提供する

▲**会話20** (c 12-d 10、11)

「働きかけ主体」：「10人ぐらいお願いできるかしら」+<笑い>で働きかける

「行動主体」：<笑い>+「内容によりますけど」と条件つきだったら受諾できることを示す

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「働きかけ主体」が「行動主体」の「断り」を予測して先取り、容認されることで「当然性」の低さが示される

待遇効果 : 「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」: 「だめならだめだと言っていいから」と断りを先取る

「行動主体」: 了解する

● 会話7 (K11、12-J14)

「働きかけ主体」: 「だめならだめって言ってね」と相手の断りを先取りする

「行動主体」: 了解する+「どうぞ」と話を促す

「調整箇所4 働きかけ-受諾」に見られる「待遇表現行為」

・「働きかけと働きかけられ」に関わる相互行為

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「働きかけ主体」が明示的に働きかけて「行動主体」に容認され、「当然性」の高さが確認される

待遇効果 : 「働きかけ」の負担がかかる

典型例 :

● 「働きかけ主体」: 働きかける

「行動主体」: 受け入れる (受諾)

・「働きかけ主体」から始める場合

● 会話9 (T7~9-B~10)

「働きかけ主体」: 「～てもらえないかと」と恩恵を伴った表現で働きかける

「行動主体」: 「はい」「いいよ」と明示的に受諾する

「働きかけ主体」: 「いいですか」と許可を求める

「行動主体」: 「いいですよ」と明示的に受諾する

▲ 会話14 (Z5-M5)

「働きかけ主体」: 「てほしいんですけど」+<笑い>で働きかける

「行動主体」: 「そう思った」+<笑い>と相手の依頼を予期していたことを表す

● 会話14 (Z6、7-M6、7)

「働きかけ主体」: 「ほしいって言ってるんだけど」と再度働きかける

「行動主体」: 受諾する

● 会話15 (N12-L12)

「働きかけ主体」: 「もしできたら～してもらえないかなと思ってお電話したんですけど」と働きかける

「行動主体」: 「ええ、いいですよ」と受諾する

● **会話17** (O10～13-X11～14)

「働きかけ主体」：「撮影をお願いしたいんですけども」、「何軒かお願いしたいんですけども」で働きかける

「行動主体」：「はい、大丈夫です」と明示的に受諾する

● **会話19** (b3～5-a4～6)

「働きかけ主体」：「行かせてもらってもいいかなと思って」と恩恵表現で明示的に働きかける

「行動主体」：「いいよ」と受け入れる

・「行動主体」から始める場合

● **会話10** (Z7-M8)

「行動主体」：働きかけられる前に「行動主体」が「行動条件」の中の一つ「何をする」を予測して「見に行く」と表す

「働きかけ主体」：「行動主体」の予測を確定し、「うん、見に行きたいんですよ」と自分の願望を表す

「行動主体」：働きかけられる前に「行動主体」が「行動条件」の中の一つ「誰とする」を予測して「いっしょに」と表す

「働きかけ主体」：「はい」と了解する

**「調整箇所4 働きかけと断り」に見られる「待遇表現行為」**

行為の開始	：「働きかけ主体」
相互行為	：明示的に働きかけたところ、「 <u>嫌だ</u> 」と主観的に断る
待遇効果	： <u>相手の願望を尊重せず、主観的に「働きかけ」を止める負担がかかる</u>
典型例：	
● 「働きかけ主体」：働きかける	
「行動主体」	：受け入れる（受諾）
▲ 「働きかけ主体」：働きかける	
「行動主体」	：うーん（断り）

▲ **会話7** (H12～14-W12、13)

「働きかけ主体」：「てくれ」を使って明示的に依頼する＋＜笑い＞

「行動主体」：「なんで」と疑問を表す＋＜笑い＞＋「無理だ」「だめだ」と使って明示的に断る

「働きかけ主体」：「てくれ」を使って再度明示的に依頼する

「行動主体」：「だめだよ」と自分の評価を述べて断る

▲**会話11** (R11-H11)

「働きかけ主体」：「教えていただきたいんですけど」と恩恵を伴って働きかける

「行動主体」：「やだ」と否定する＋＜笑い＞（冗談を伴って「当然性」の低さを示す）

**「調整箇所5 説得」に見られる「待遇表現行為」**

・「やりとりの管理」に関わる相互行為

行為の開始	：「行動主体」
相互行為	：「いや、なんか」と話し始めて受け入れられる
待遇効果	：会話の展開がわかりやすくなり、負担が軽減される（会話管理）
典型例：	
「行動主体」	：「いや、なんかさ」と話を始める
「働きかけ主体」	：受け入れる

■**会話11** (H12) 「行動主体」：「いやね」と話を開始する（会話管理）

■**会話13** (H29) 「働きかけ主体」：「いや、なんかさ」で話を開始する（会話管理）

・「行動前提の伝達と理解」に関わる表現行為

行為の開始	：「働きかけ主体」／「行動主体」
相互行為	：「行動前提」について <u>具体的に</u> 確認し合い「当然性」を固める
待遇効果	：「働きかけ」の負担が軽減される
典型例：	
「働きかけ主体」	：「行動前提」について情報確認する
「行動主体」	：確認する

●**会話4** (A19-S20～S22)

「行動主体」：「行動前提」について、病院の治療の様子を情報確認する

「働きかけ主体」：確認する

▲**会話10** (M27、28-Z27、28)

「働きかけ主体」：「行動前提」について「アンテナがついていると曲がってしまう」からアンテナのない携帯が買いたいという自分の考えを表す

「行動主体」：＜笑い＞＋「アンテナがなくても大丈夫なの？」と疑問を提示する

「働きかけ主体」：「大丈夫ですよね」と情報を確認する

行為の開始	: 「働きかけ主体」
相互行為	: <u>すでに共有しているはずの「行動前提」</u> を引き出し、「当然性」を固める
待遇効果	: 「働きかけ」の負担が軽減される
典型例:	
	「働きかけ主体」: 「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認する
	「行動主体」: 了解する

● **会話3** (U 1 6 - E 1 7)

- 「行動主体」: 「(会社を) 何時に出られるか、まだ、あの一」と言いよどむ  
「働きかけ主体」: 「行動主体」の話の後半を推測して「はっきりしない」と先取る  
「行動主体」: 「うん、確証はない」とさらに言い換えて了解する

● **会話4** (S 2 3、2 4 - A 2 4)

- 「働きかけ主体」: 「(赤ちゃんを背負うひもを買った) じゃない?」と相手も知っている自分の前提的な状況を思い出させる+その「行動前提」があれば「行動主体」が行動しなくてもいいことを言う  
「行動主体」: 受け入れる

● **会話13** (H 3 0 - R 3 1)

- 「働きかけ主体」: 「(飲み会についてはいつも) 4年生で決めることになってるじゃん」と「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動前提」を思い出させて確認する  
「行動主体」: 「はい」と了解する

● **会話13** (H 3 1 - R 3 2)

- 「働きかけ主体」: 「(ふつう) 全員で行ったりしないでしょ」と「行動主体」に確認する  
「行動主体」: 「はい」と了解する+〈笑い〉

行為の開始	: 「働きかけ主体」
相互行為	: 「行動前提」にある <u>自分の願望、意思、判断を表して</u> 「当然性」を示し、それが容認される
待遇効果	: 相手の願望、意志、判断が尊重される
典型例:	
	「働きかけ主体」: 「行動前提」として自分の願望や意思を表す
	「行動主体」: 受け入れる

● **会話2** (Y 1 3 - F 1 2)

- 「働きかけ主体」: 「行動前提」としてテストがもうすぐあるから「まずい」という



共通認識を挙げつつ、「見たい」と明示的に自分の願望を表す

「行動主体」：受け入れる

● 会話2 (Y19-F18、19)

「働きかけ主体」：「行動」によって自分の気持ちが上向きになるという利点を表す

「行動主体」：了解する+＜笑い＞

● 会話7 (H31-W30)

「働きかけ主体」：「行動前提」として、自分が行動できない前提について「家庭の事情があってもどうしてもいけない」と言って「働きかけ」の必然を表す

「行動主体」：「そう」と同意する

● 会話7 (H33~36-W35)

「働きかけ主体」：「行動前提」として、自分が行動できない前提について「日曜日はないと思っていた」「お盆の前にどうしようもない日」と言って「働きかけ」の必然を表す

「行動主体」：「そう」と同意する

● 会話10 (M31-Z31)

「働きかけ主体」：「～たいな」と願望を表す

「行動主体」：「はい、じゃあ今度」と次の行動を提案する

● 会話11 (R78~83-H78~84)

「働きかけ主体」：最近そんなことでいろいろ悩んでいる、と自分の気持ちを表す

「行動主体」：両者が知っているYさんの例を挙げて、励ます+＜笑い＞

「働きかけ主体」：＜笑い＞+思い出す(冗談を伴って相手と関係がつながる)

▲ 会話2 (Y18-F17)

「働きかけ主体」：明示的に自分の願望を表す+＜笑い＞

「行動主体」：＜笑い＞+「え、」と言いよどむ

・「行動条件の伝達と理解」に関わる表現行為

行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」

相互行為：「行動条件」に関する具体的な情報を確認し合って「当然性」を固める

待遇効果：「行動」の負担が軽くなる

典型例：

「行動主体」：「行動条件」の中の一つの項目について情報提供する

「働きかけ主体」：受け入れる

「働きかけ主体」：「行動条件」について情報提供する

「行動主体」：受け入れる

・「働きかけ主体」から始める場合

● 会話4 (A12-S13)

「行動主体」：「行動条件」の中の「いつ（この場合「金曜日）」について問題があることを、「あれ」でお互いが共有しているはずの情報として思い出させる＋「授業の日」とさらに言い換える

「働きかけ主体」：問題点について「うるし？」とさらに他の言葉に言い換えて質問する

「行動主体」：了解する

● 会話6 (X16-H20)

「働きかけ主体」：「行動条件」について「～っていう感じだから」と大まかに情報提供する

「行動主体」：受け入れる

● 会話7 (H19~21-W19、20)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「時」について、そのとき「行動主体」は何もすることがないはずだと決めつける

「行動主体」：同意する

● 会話7 (K35~41-J36~44)

「働きかけ主体」：「行動条件」について必要なものを情報要求する

「行動主体」：必要なものがあることを情報提供する

● 会話10 (M7~9-Z8、9)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「買う種類（この場合「携帯電話」の種類）」について情報要求する

「行動主体」：携帯電話の種類について情報提供する

「働きかけ主体」：「ですよ」で「行動主体」と情報を共有したことを確認する

● 会話10 (Z21-M22~27)

「行動主体」：<笑い>＋「行動条件」として「買う物（この場合「携帯電話の種類）」について「えー、なんだろう、何がいいんだろうね」と情報要求する

「働きかけ主体」：最近の機種の情報提供を行いながら「どれでもいいかなと思って」と自分の考えを表す

● 会話10補 (M47-Z47)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「いつ（この場合「携帯電話を買いに行く日）」について「金曜日は無理」であることを情報提供する

「行動主体」：「行動条件」の中の「時間（この場合「携帯電話を買いに行く日）」について「<笑い>＋全部だめ」と今週が不可能であることを確認する

「働きかけ主体」：今週が不可能であることに「そうなんですよ、結構厳しい」と同意し、「合間をみつけていかないと」と条件を提示する

● **会話10補** (M62～63-Z62)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「いつ(この場合「携帯電話を買いに行くとき」)」について「買い物へ行く途中とかで行ったほうが」と新しく提案する

「行動主体」：「うん」と同意する

● **会話10補** (Z75-M75)

「働きかけ主体」：「行動主体」の情報を受けて「～とかのほうがいいですか」と相手の都合を聞く

「行動主体」：同意する

● **会話10補** (Z80～83-M84)

「行動主体」：「行動条件」の中の「時間」について、他の用事は「すぐ終わる」「早く終わらそうとすれば終われる」と情報提供する

「働きかけ主体」：受け入れる

● **会話10補** (Z84～87-M87)

「行動主体」：他の用事が「水曜来たとして」と仮定した上で、行動するのは「水木はたぶん大丈夫」と保証する

「働きかけ主体」：自分の予定を情報提供して保証する

● **会話12** (P22～26-G25～27)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「何をする」について「行動主体」もわかっているはずの事実(この場合「片づけていない箱が置いてある」)を指摘する

「行動主体」：「まじですか」と驚き、「それは俺です」と同意する

● **会話12** (P41、42-G42、43)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「何をするか」に関して実行されているかどうか確認する

「行動主体」：確認する+<笑い>

● **会話13** (H20-R21)

「働きかけ主体」：「行動条件」として「OB(先輩)」を呼ぶことを情報提供する

「行動主体」：「えっ」と驚き、「働きかけ主体」が提示した情報を「行動条件」の一つ「だれ(この場合「だれを呼ぶか」)」として確認する

● **会話20** (c13～15-d15、16)

「働きかけ主体」：「A4で」、「一枚で」、「ちょっと敬語についていくつかの質問があってそれに答える」と、「行動条件」の中の一つ「量」と「何をするのか」について情報提供する

「行動主体」：「働きかけ主体」の出した「何をする」について「答えるくらいだったら大丈夫です」と条件を限定して受諾する

「働きかけ主体」：「大丈夫？」と都合を確認する

「行動主体」：了解する

▲**会話2** (Y 2 2 - F 2 2)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「実施日」について都合を聞く

「行動主体」：言葉を反復して聞き返す

▲**会話4** (A 1 4 - S 1 5, 1 6)

「行動主体」：問題になっている「行動条件（この場合「曜日」）について新しい案を提案する

「働きかけ主体」：新しい「行動条件」は不可能であることを表す

▲**会話5** (Y 3 0 ~ 3 4 - F 3 0 ~ 3 5)

「働きかけ主体」：すでに問題となっている「行動条件」について「言えばなんとかなるかもしれない」と解決法について推測する

「行動主体」：「行動条件」について「なんとかなるの？」と確認する

▲**会話6** (X 1 6 - H 2 1)

「働きかけ主体」：「行動条件」について「できれば～って言ってたね」と伝言で情報提供する

「行動主体」：「行動条件」の中で指定された「人」がいないことを示す

▲**会話6** (X 1 4, 1 5 - H 1 7, 1 8, 1 9)

「働きかけ主体」：「行動条件」に中からこの会話の中で問題になっている「人」に関する情報提供をする

「行動主体」：「行動条件」の中で指定された「人」がいないことを示す

▲**会話7** (K 3 0 - J 3 2)

「働きかけ主体」：「行動条件」について情報要求する

「行動主体」：それをするには「～しなければいけない」と必然を表す

▲**会話7** (K 3 2 - J 3 3)

「働きかけ主体」：「行動条件」について情報要求する

「行動主体」：「わからない」と答える（「当然性」の低さを表す）

▲**会話7** (K 3 3 - J 3 4)

「働きかけ主体」：「行動条件」について情報要求する

「行動主体」：「行動条件」の中の「必要な物」がない+これからどうなるのかわからないと情報提供する

▲**会話7** (K 3 3 - J 3 4)

「働きかけ主体」：「行動条件」について情報要求する

「行動主体」：「行動条件」の中の「必要な物」がないことを表す

▲**会話7** (H41-W40)

「働きかけ主体」: 最低限の行動をしてもらえればいいと促す

「行動主体」: 自分には最低限の行動をするほどの必然性がないことを表す

▲**会話10補** (Z42-M43~46)

「働きかけ主体」: 「行動条件」の中の一つ「いつ(この場合「携帯電話を買いに行く日」)」について、「働きかけ主体」が月曜日と火曜日に行動できないことを情報提供する

「行動主体」: 「行動条件」の中の「いつ」について「厳しくて」「木曜日では6時に終わるのでそれからはとりあえず行けるかもしれない」と自分の都合を述べる

▲**会話10補** (M70-Z70)

「働きかけ主体」: 「行動条件」の中の「いつ(この場合「携帯電話を買いに行くとき」)」について、「月曜日もゼミがない」と追加の情報提供をする

「行動主体」: 「うそ」と直接的に否定する

▲**会話13** (H21、22-R22、23)

「働きかけ主体」: 「行動条件」として「OB(先輩)」を呼ぶがあまり人数は少ないことを情報提供する

「行動主体」: 「えっ」と驚き、問題となっている「行動条件」を別の言葉で繰り返して確認する

・「行動主体」から始める場合

●**会話2** (F8-Y10)

「行動主体」: 「行動条件」の中の「場所」について情報要求する

「働きかけ主体」: 「場所」について情報提供する

●**会話3** (U13-E14)

「行動主体」: 問題のある「行動条件」(この場合は曜日)を確認する

「働きかけ主体」: 「うん」と確認する

●**会話3** (U14-E15)

「行動主体」: 「行動条件」(この場合は時間)を情報要求する

「働きかけ主体」: 「7時半ぐらいに来てくれればうれしい」と恩恵表現で情報提供+「帰りがちょっと遅い」と情報提供する

●**会話3** (U15-E16)

「行動主体」: 問題のある「行動条件」について言葉を反復して聞き返す+「私も～じゃない?」と行動できないことについて相手も知っている自分の状況を思い出させる

「働きかけ主体」: 受け入れる

● **会話3** (U18、19-E20)

「行動主体」 : 「行動条件」 に中で自分が行動できる「時間」について情報提供する

「働きかけ主体」 : 「行動主体」 に行動内容を「決めさせる」

● **会話3** (U27~30-E29、30)

「行動主体」 : 「行動条件」 の中の自分ができる時間について「夜遅い分には私がかまわない」と自分の判断を述べて「夜遅い時間」の行動を保証する

「働きかけ主体」 : 一緒に行動する第三者の状況を「8時半ぐらいにはここを出なければいけないんだって」と伝聞で伝える

● **会話4** (A8-S9~11)

「行動主体」 : 「えっ」と驚いて問題となる「行動条件(この場合「曜日」)を繰り返して情報を確認する

「働きかけ主体」 : 「もし都合がよかったらと思ったんだけどどんな感じ?」と「行動主体」の「行動条件」を情報要求する

● **会話5** (Y25-F26)

「行動主体」 : 問題のある「行動条件」について、行動した後の対処として「貸した物をすぐ返してくれる?」と確認する

「働きかけ主体」 : 「明日」と具体的に返せる日を情報提供する+「たぶん」+<笑い>

● **会話7** (W23~25-H25~27)

「行動主体」 : 問題のある「行動条件」の中の「だれがするのか」について、自分がしなくても他に適任者がいるという代案を示す

「働きかけ主体」 : 「確かにいる」と承諾する

● **会話10補** (Z68-M68)

「行動主体」 : 「行動条件」の一つ「いつ(この場合「携帯電話を買いに行く日」)について、自分の「行動前提」を「火曜日とか授業なかったら」と仮定して情報提供する

「働きかけ主体」 : 同意する+補強する「行動前提」を示す

● **会話10補** (M60-Z60)

「行動主体」 : 「今週」の状況を情報提供する

「働きかけ主体」 : 「行動主体」の都合がいい「行動条件」を受け入れて、「木曜日」という新しい条件を確認する

● **会話20** (c13~15、d11~d15)

「行動主体」 : 「内容による」と問題のある「行動条件(この場合「アンケートの内容」)を示して受諾の条件を限定する

「働きかけ主体」：「A4で」、「一枚で」、「ちょっと敬語についていくつかの質問があってそれに答える」と、「行動条件」の中の一つ「量」と「何をするのか」について情報提供する

▲**会話3** (U20-E22)

「行動主体」：「働きかけ主体」の行動できる状況を確認する

「働きかけ主体」：「行動主体」が可能な「行動条件」を確認する

▲**会話10補** (Z40~42-M41、42)

「行動主体」：「行動条件」の中の「いつ（この場合「携帯電話を買いに行く日）」について「とりあえずどんな感じなの？」と「働きかけ主体」の都合を聞く

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「いつ（この場合「携帯電話を買いに行く日）」について「～ですよ？私」とお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認する

「行動主体」：了解する

▲**会話7** (W40-H41)

「行動主体」：自分は期待される「行動条件」に合わないことを示す

「働きかけ主体」：最低限の行動をしてもらえればいと促す

▲**会話7** (W36~38-H38~40)

「行動主体」：「働きかけ」の相手について、自分ではなくて後輩に働きかけることを提案する

「働きかけ主体」：後輩に働きかけるのは偉そうで避けたい、同級生に働きかけたいという気持ちを表す

▲**会話5** (Y27-F28)

「行動主体」：問題のある「行動条件」について繰り返して「5000円かー」と言いよどむ+「でも」と言いよどみを否定する

「働きかけ主体」：「無理だったら」と「行動主体」の断りを先取りする

▲**会話6** (H8-X8)

「行動主体」：問題のある「行動条件」（この場合は「人」）を確認する

「働きかけ主体」：「っつーかね（ていうかね）」と質問を言い換える

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「行動主体」が出した「行動条件」を取り上げて新しい「行動条件」を提案し、了解されて、「当然性」が高まる

待遇効果：相手の都合を尊重し、「行動」の負担が軽減する

典型例：

「働きかけ主体」：「行動主体」が可能な「行動条件」を確認する

「行動主体」：「それなら大丈夫だと思う」とその条件を了解する

● 会話3 (E 2 2 - U 2 2)

「働きかけ主体」：「行動主体」が可能な「行動条件」を確認する

「行動主体」：「～だったら大丈夫だと思う」と条件つきで可能な「行動条件」を  
情報提供する

● 会話3 (E 2 3 ~ E 2 7 - U 2 5、2 6)

「働きかけ主体」：「行動主体」が出した「行動条件(この場合「時間」)」を取り入れて  
新しい「行動条件」を提案する

「行動主体」：言葉を反復して確認する+「それがいい」と提案に同意する

● 会話6 (X 1 9 ~ 2 4 - H 2 8)

「働きかけ主体」：「行動主体」が出した「行動条件(この場合「人」)」を取り入れて  
新しい「行動条件」を提案する

「行動主体」：「それならありかも」と提案に同意する

● 会話6 (X 2 5 - H 2 9)

「働きかけ主体」：「行動前提」について相手に利益になりそうな情報を提供する+<  
笑い>

「行動主体」：了解する

● 会話6 (X 2 8, 2 9 - H 3 4)

「働きかけ主体」：「行動前提」について相手に利益になりそうな情報を提供する

「行動主体」：了解する

● 会話10 (Z 3 1 - M 3 3)

「働きかけ主体」：「できたら早めに行きましょう」と「できたら」と相手の都合を配  
慮しながら誘う

「行動主体」：「はい」と了解し、「じゃあ」と話題転換して次の行動を提案する

● 会話10補 (M 4 8 - Z 4 8 ~ 5 3)

「働きかけ主体」：今週が不可能であることについて、相手の都合を取り入れて「そう  
なんですよ、結構厳しい」と同意し「合間をみつけていかないと」  
と条件を提示する

「行動主体」：「行動条件」の中の一つ「いつ(この場合「携帯電話を買いに行く  
日」)」について「来週だとどうなるんだろうな」と自分の都合に  
ついて情報提供する

● 会話10補 (M 5 5 ~ 6 0 - Z 5 5 ~ 5 9)

「働きかけ主体」：「行動主体」の都合がいい「行動条件」を受け入れて、「今週」とい  
う新しい条件を確認する

「行動主体」：「今週」の状況を情報提供する

▲ 会話4 (S 1 7 - A 1 7)



「働きかけ主体」：「それだったら」と「行動条件」を提案しようとする

「行動主体」：相手の提案を遮って自分の提案をする

▲**会話7** (H30-W29)

「働きかけ主体」：「行動主体」が出した「行動条件(この場合「する事」)」を取り入れて新しい「行動条件」を「～すればいい」と助言する

「行動主体」：「つつうか」で「働きかけ」の助言を否定し、「働きかけ主体」が行動するように指示する

▲**会話10補** (Z63-M65)

「行動主体」：「行動条件」の中の「いつ(この場合「携帯電話を買いに行くとき)」について「働きかけ主体」が提案した新しい案に賛成する考えを述べる

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「いつ(この場合「携帯電話を買いに行くとき)」について、自分の出した時間だと店がしまっているかもしれないと情報提供する

「行動主体」：「うん」と同意する

行為の開始	：「働きかけ主体」／「行動主体」
相互行為	：「行動条件」について <u>主観的な評価や自分の考え、推測として情報を確認し合って</u> 「当然性」を固める
待遇効果	：「行動」の負担が軽くなる
典型例：	
	「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つである「時間」について「2時間ぐらいで終わると思う」と考えを述べる
「行動主体」	：受け入れる

・「働きかけ主体」から始める場合

●**会話2** (Y9-F8)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つである「時間」について、「2時間ぐらいで終わると思う」と考えを述べる

「行動主体」：受け入れる

●**会話2** (Y12-F11)

「働きかけ主体」：「行動条件」の一つである「場所までの距離」について「まだ調べていない」と述べる + 「遠いかもしれない」と推量する

「行動主体」：受け入れる

●**会話2** (Y20-F21)

「働きかけ主体」：「行動条件」で「何を見る」について、（ビデオではなくて）本物のやつに、とかと思う」と自分の考えとして表す

「行動主体」：受け入れる

● **会話6** (X16-H20)

「働きかけ主体」：「行動条件」を「ただ」と小さく表現する

「行動主体」：「行動条件」の中で指定された「人」がいないことを示す

● **会話10補** (Z46-M47)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ「時間（この場合「携帯電話を買いに行く時間」）」について「ぎりぎり行けそう」と可能性について確認する

「行動主体」：「そうですね」と了解する

● **会話10補** (Z91~93-M92~94)

「行動主体」：「行動条件」について「たぶん」「～ば、～かも」と推測する

「働きかけ主体」：「たい」で自分の願望を述べて、気持ちの共感を得ようとする

● **会話10補** (M95~97-Z95、96)

「働きかけ主体」：「行動条件」を伝えるときに、＜笑い＞＋「そうですね」と気持ちの共感を得ようとする

「行動主体」：＜笑い＞＋受け入れる

● **会話13** (H23~27-R24~27)

「働きかけ主体」：「～しか」を使って「行動条件」を少なく表現している

「行動主体」：「えっ」と驚き、問題となっている「行動条件」を別の言葉で繰り返して確認する

● **会話13** (H32~33-R33、34)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ「だれがするのか（この場合、幹事）」について「去年の自分の経験からして、1人がやったほうがいいなあと思っていたんだ」と自分の考えを表す＋＜笑い＞

「行動主体」：「はい」と考えを受け入れる＋＜笑い＞

▲ **会話2** (Y15-F15)

「働きかけ主体」：「行動条件」の一つである「場所」について情報提供する＋「～じゃないかも」「結構遠いかも」と推量で表す

「行動主体」：相手が提示した「場所」「距離」を繰り返す

▲ **会話2** (Y17-F16)

「働きかけ主体」：「行動条件」の一つである「場所」について「やばいよね」と負担への共感を確認する

「行動主体」：相手が提示した「距離」を繰り返す

▲ **会話7** (H24-W23)

「働きかけ主体」：「行動条件」について「たいしたことない」と表現する

「行動主体」：話を転換して自分がしなくても他に適任者がいることを示す

▲**会話13** (H18-R19)

「働きかけ主体」：「行動条件」について「たいしたことない」と軽く表す

「行動主体」：「そーですねー」と言いよどむ

・「行動主体」から始める場合

●**会話13** (R28-H28)

「行動主体」：「行動条件」の中の「いつ」について、「早くやらなければいけないですよね」と急ぎであることを確認する

「働きかけ主体」：同意する

行為の開始	：「働きかけ主体」／「行動主体」
相互行為	：逆説得。「 <u>行動主体</u> 」が「 <u>働きかけ主体</u> 」に、自分で行動するように <u>勧めた</u> ところ、「行動主体」がそれに同意する。行動を働きかける「当然性」は下がる。
待遇効果	：「働きかけ」を止める負担が軽くなる
典型例：	「働きかけ主体」：「行動主体」が「働きかけ主体」に、自分で行動するように勧める 「行動主体」：同意する

・「働きかけ主体」から始める場合

●**会話11** (R42~61-H42~61)

「働きかけ主体」：勉強している共通の知り合い「Fさん」や「Iさん」の例を挙げてやはり教えてもらった方がいいのではないかという考えを示す

「行動主体」：「Fさん」も「Iさん」も「盗むタイプ」ではないかという自分の考えを表す

「働きかけ主体」：「Fさん」や「Iさん」に「よく勉強しろ」と言われるという自分の体験を情報提供し、「彼らは自分で行動していてすごい」とほめる

「行動主体」：「Fさん」と「Iさん」は確かにすごいとほめる＋「働きかけ主体」の出した「自分で行動した方がいい」という勧めについて自分が勉強した時期の例を挙げて同意する＋＜笑い＞

「働きかけ主体」：＜笑い＞＋受け入れる

●**会話11** (R62-H62~68)

「働きかけ主体」：「自分で行動した方がいい」ということに同意した後、「行動主体」がいつから卒論を書いたか質問する

「行動主体」：12月半ばぐらいから始めたことを情報提供する＋＜笑い＞

● 会話11 (R 69-H 69)

「働きかけ主体」：「自分で行動した方がいい」という同意をした後、「行動主体」の卒論の話の中から一例を情報要求する

「行動主体」：情報提供する

● 会話11 (R 70-73-H 70-73)

「働きかけ主体」：「行動主体」の自分で行動した例を聞いて、「自分はそのようにできなさそうだ。それも悩みである」と自分の気持ちを表す

「行動主体」：「働きかけ主体」と同じ悩みを持っていた先輩「Sさん」「Pさん」の例を挙げる

● 会話11 (R 74-76-H 74-76)

「働きかけ主体」：自分が今自分で行動するなら、こうすべきだと思っていることを表す

「行動主体」：「うん」「そうなのか」「別にいいじゃんそれで」と「働きかけ主体」の考えを受け入れる

● 会話11 (R 77-H 77)

「働きかけ主体」：最後に「自分で行動しなければと思いつつ、目の前のこと、つまり言われたことをやっているだけでいいんですかね」と、「盗め」という「行動主体」の助言についてその妥当性を確認する

「行動主体」：「いいよ」と受け入れる

・「行動主体」から始める場合

● 会話11 (H 13-14-R 14-16)

「行動主体」：「行動主体」が行動しない前提を基に「働きかけ主体」に助言する

「働きかけ主体」：「はい」と受け入れる

● 会話11 (H 35-41-R 36-41)

「行動主体」：「行動主体」が行動しない前提を基に、「Pさんとかはさ」と「働きかけ主体」と共有できる具体例を思い出すように促して、自分で行動することを勧める

「働きかけ主体」：共有できる具体例を思い出して確認する

▲ 会話11 (H 16-28-R 17-28)

「行動主体」：「行動主体」が行動しない前提を基に、自分で行動すること助言する

「働きかけ主体」：「盗む？」「盗むみたいな感じでいいってことですか」「やり方を学んで」と確認しながら理解しようとする

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「働きかけ主体」が「行動条件」の中の一つについて代案がないことを示して確認する

待遇効果：相手の都合を尊重しないので「行動」の負担が重くなる

典型例：

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つについて代案がないことを示す

「行動主体」：了解する

● 会話2 (Y20-F20)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ「動作の対象（この場合「見る映画」）について代替物がないことを示す

「行動主体」：了解する＋＜笑い＞

▲ 会話4 (S17-A17)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ「いつ（この場合「病院に行く日」）について自分がコントロールできない（病院には定休日がある）ことを表す

「行動主体」：了解する

・「働きかけと働きかけられ」に関わる相互行為

行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」

相互行為：これまで検討した「行動条件」に関する具体的な情報を確認し合って「当然性」を確かめることで「行動主体」は受諾を表す

待遇効果：「行動」の負担が軽くなる

典型例：

「働きかけ主体」：これまで検討した「行動条件」について「それだったら大丈夫？」と確認する

「行動主体」：「大丈夫です」と受け入れる（受諾する）

「行動主体」：これまで検討した「行動条件」について「それだったら大丈夫です」と了解する（受諾する）

「働きかけ主体」：「ほんとに？」と受け入れる

▲ 会話6 (X19~24-H28)

「働きかけ主体」：「OK？」と「行動主体」の応答を促す

「行動主体」：「考えておく」と応答を保留にする

● 会話13 (R35-H35)

「行動主体」：「じゃやりますわ」と宣言する

「働きかけ主体」：「ほんとに?」と確認する

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「働きかけ主体」が「行動主体」の「断り」を予測して先取り、容認されることで「当然性」の低さが示される

待遇効果：断る負担が軽減する

典型例：

「働きかけ主体」：「だめならだめだと言っていいから」と断りを先取る

「行動主体」：了解する

● **会話7** (K44-J46)

「働きかけ主体」：自分から断りを先取りして「無理だね」と諦める

「行動主体」：受け入れる

▲ (K45-J48)

「働きかけ主体」：「働きかけ主体」が自分で行動することを提案し、それでいいか確認する+<笑い>

「行動主体」：<笑い>+関連する「前提条件」を情報提供する

行為の開始：「行動主体」

相互行為：「行動主体」が問題となっている「行動条件」について「働きかけ主体」が行動するように働きかけて、了解される

待遇効果：「働きかけ主体」の期待が尊重されない

典型例：

「行動主体」：「行動主体」が問題となっている「行動条件」について「働きかけ主体」が行動するように働きかける

「働きかけ主体」：自分が行動することを了解する

▲ **会話7** (W29-H31)

「行動主体」：「つつうか」で「働きかけ主体」の提案を否定し、「来いよ」と「働きかけ主体」が行動するように指示する

「働きかけ主体」：「行動前提」として「家庭の事情があってもいけない」「お盆の前と言って行動の必然性を表す

・「人間関係のつながり」に関する相互行為

行為の開始：「行動主体」

相互行為：以前受けた行為について御礼を言って受け入れられる

待遇効果：相手と関係がつながる

典型例：

「行動主体」：以前受けた行為について「ありがとう」と御礼を言う

「働きかけ主体」：「いえいえ」と受け入れる

● **会話 7** (K 4 3 - J 4 5)

「働きかけ主体」：以前の行動に御礼を言う

「行動主体」：「いえいえ」と受け入れる

**「調整箇所 6 交渉」に見られる「待遇表現行為」**

・「やりとりの管理」に関わる相互行為

行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」

相互行為：「じゃ」、「じゃー」等で次の行動の確認に入ることを確認し了解される

待遇効果：会話の展開がわかりやすくなり、負担が軽減される

典型例：

「働きかけ主体」：「じゃあ」

「行動主体」：受け入れる

■ **会話 1** (N 1 2) 「働きかけ主体」：「えっとね」で「行動条件」に関する情報提供を始める

■ **会話 3** (E 3 4) 「働きかけ主体」：「で」で会話を「交渉」に展開する

■ **会話 9** (T 3 2) 「働きかけ主体」：「じゃ」で「行動条件」の再確認に入る

■ **会話 1 4** (Z 1 8) 「働きかけ主体」：「じゃー」と話題を展開する

■ **会話 1 4** (Z 2 7) 「働きかけ主体」：「じゃー」で次の行動の確認に入る

■ **会話 1 5** (L 3 0) 「行動主体」：「じゃー」で話題を転換する

■ **会話 2 0** (d 1 9) 「行動主体」：「あの一」と行動の準備の依頼に入る

・「働きかけと働きかけられ」に関する「待遇表現行為」

行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」

相互行為：これまで検討した「行動条件」に関する具体的な情報を確認し合って「当然性」を確かめることで「行動主体」は受諾を表す

待遇効果：「行動」の負担が軽くなる

典型例：

「働きかけ主体」：これまで検討した「行動条件」について「それだったら大丈夫？」と確認する

「行動主体」：「大丈夫です」と受け入れる（受諾する）

「行動主体」：これまで検討した「行動条件」について「それだったら大丈夫です」と了解する（受諾する）

「働きかけ主体」：「ほんとに？」と受け入れる

● 会話2 (E 3 1～3 3-U 3 1、3 2)

「働きかけ主体」：「それだったら大丈夫？」と相手の出した「行動条件」を取り入れた条件を確認する

「行動主体」：「それだったら大丈夫」と自分の出した「行動条件」を取り入れた条件を受け入れる

「働きかけ主体」：相手の受諾を「ほんと？」と確認した後、「行動条件」の中の一つ「時間（この場合「家への到着時間」）について再確認する

● 会話8 (H 4 2、4 3-W 4 1、4 2)

「働きかけ主体」：「行動前提」として「ひまだろ？」と相手の状況について確認する

「行動主体」：「～だけでいいならする」と条件付きで受諾する

● 会話16 (V 6 7～6 9-T 7 0～7 2)

「働きかけ主体」：「第三者の依頼を伝聞する形で働きかける」

「行動主体」：「それはかまわないけど、～はできない」と条件付きで受諾する

● 会話9 (T 3 1-B 3 2)

「働きかけ主体」：「ええ、じゃそんな感じで」とこれまで確認した「行動条件」の再確認に入る

「行動主体」：「うん、いいすよ」と了解する

● 会話15 (N 4 1、4 2-L 4 1、4 2)

「働きかけ主体」：「やってもらいたいですよ」と働きかける

「行動主体」：「はい」と受諾する

「働きかけ主体」：「行動条件」の説明を「「だいたいそんな感じなんですけど」とまとめる

「行動主体」：「わかりました」と了解する

● 会話18 (C 1 3～2 0-D 1 5～2 1)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ「誰（この場合DかCか第三者）」について、「もし結構難しそうって言うのであれば、私か第三者がやらなければならない」と相手ができない場合は「行動主体」を変えても行動する必要があることを示し、できそうであれば、Dにお願いしたいという考えを示す



「行動主体」：自分の都合を確認してできそうだったらやる、と受諾する

● 会話1 (K10、11-N10)

「行動主体」：「それって私へのお願いか」 この会話の意図が自分への依頼であることを確認する

「働きかけ主体」：「そうそう」と了解し、会話の意図が依頼であることを示す

「行動主体」：「OK、いいよ」と明示的に受諾する

● 会話19 (b12-a13)

「働きかけ主体」：「いいかな」と再度受諾を促す

「行動主体」：「いいですよ」と受諾する

● 会話20 (c25、26-d25、26)

「働きかけ主体」：「ほんとに↑」と受諾を確認する

「行動主体」：「はい」と了解する

▲ 会話20 (c18-d18)

「働きかけ主体」：条件を付け加えた上で、再度受諾の確認をする

「行動主体」：cの発話の途中で割り込む

・「行動主体」から始める場合

● 会話13 (R49、50-H49)

「行動主体」：「いいですよ、やりますよ」と再度、明示的に受諾する

「働きかけ主体」：「ほんとに？」と確認する

「行動主体」：「はい」と了解する

● 会話20 (c13~15-d15)

「行動主体」：「働きかけ主体」の出した「何をする」について「答えるくらいだったら大丈夫です」と条件を限定して受諾する

「働きかけ主体」：「大丈夫？」と受諾を確認する

「行動主体」：了解する

▲ 会話1 (K34~K35)

「行動主体」：「交渉」の最後に再度明示的に受諾する

「働きかけ主体」：「いい？」と確認する

「行動主体」：「OK」と再度明示的に受諾する

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「働きかけ主体」が「行動主体」が行動するとき実際に負担になりそうなことは代わりに自分がすると申し出る

待遇効果：「行動」の負担が軽くなる

優先的応答例：

- 「働きかけ主体」：「行動主体」が行動するとき実際に負担になりそうなことは代わりに自分がすると申し出る

「行動主体」：「いいよ」と断る

※「しましょうか」の「申し出」の優先的応答は「いいえ」になる。

- **会話3** (E 37-U 37)

「働きかけ主体」：「行動主体」が実際に行動する状況において実際に負担になりそうなことは代わりに自分がすると申し出る

「行動主体」：お願いする

- **会話3** (E 50~52-U 51~52)

「働きかけ主体」：「行動主体」が行動するとき実際に負担になりそうなことは代わりに自分がすると申し出る

「行動主体」：「いいよ」と断る

「働きかけ主体」：冗談にして申し出をし直す

「行動主体」：了解する

「働きかけ主体」：申し出をし直す

- **会話19** (b14-a17)

「働きかけ主体」：「行動主体」が行動するとき実際に負担になりそうなこと（この場合、夕方5時半から6時半という夕食時における食事）は代わりに自分がすると申し出る

「行動主体」：「いいよ」と断る

- **会話20** (c13~15-d15)

「働きかけ主体」：「コピーをとって」、「行動主体」の「会社まで行こうかしら」と行動の準備を自分から申し出る

「行動主体」：「結構ですよ」と断る

「働きかけ主体」：「ほんとに↑」と確認する

「行動主体」：「送信してもらうので」と断った理由を伝える

- ・「前提条件の伝達と理解」に関わる「待遇表現行為」

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「働きかけ主体」が「行動主体」の置かれている前提的状況を確認しあ  
って「当然性」を固める

待遇効果：相手の状況を尊重する

典型例：

「働きかけ主体」：「忙しいよね」と「行動主体」の状況を確認する

「行動主体」：状況を保証する

● 会話3 (U 3 - E 4)

「働きかけ主体」：「行動主体」が実際に行動する状況において負担になりそうなことを心配する+<笑い>

「行動主体」：<笑い> (冗談として受け止めて負担を軽減する)

● 会話3 (E 4 3 ~ 4 5 - U 4 4 ~ 4 6)

「働きかけ主体」：「行動主体」が実際に行動する状況において負担になりそうなことを心配する

「行動主体」：問題があったら助けてほしいと頼む+<笑い>

「働きかけ主体」：<笑い>+了解する

「行動主体」：「なんて言うのは冗談で」と、「助けて欲しい」という依頼を冗談にして、「大丈夫、大丈夫」と自分の状況を保証する

「働きかけ主体」：「ほんと？」と相手の保証を受け入れる

● 会話3 (E 3 8 ~ 3 9 - U 3 8)

「働きかけ主体」：「行動主体」が実際に行動する状況において負担になりそうなことを予測する

「行動主体」：了解する

● 会話3 (E 4 8 ~ 5 2 - U 4 9 ~ 5 2)

「働きかけ主体」：「行動主体」が実際に行動するときの状況を確認する

「行動主体」：自分の考えを表す

● (b 9 - a 1 0)

「働きかけ主体」：「行動前提」について「~するらしい」と第三者からの情報を伝聞する

「行動主体」：受け入れる

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：すでに共有しているはずの「行動前提」を確認して「当然性」を固める

待遇効果：「働きかけ」の負担が軽くなる

典型例：

「働きかけ主体」：「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認す

る

「行動主体」：了解する

● 会話 9 (T 17 - B 17)

「働きかけ主体」：「あ、そうそう、そういえば、例のやつなんです、Xのやつ、～しなければいけないから」で「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動前提」を思い出させる

「行動主体」：思い出す

● 会話 19 (b6 ~ 8 - a7 ~ 9)

「働きかけ主体」：「でしょ？」とお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認する

「行動主体」：了解する

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「行動前提」としてある自分の願望や意思、判断を表すことで「当然性」を一方的に提示し、それが容認される

待遇効果：気持ちを理解することで関係がつながる

典型例：

「働きかけ主体」：「行動前提」として自分の願望や意思を表す

「行動主体」：受け入れる

● 会話 19 (b10、11 - a11、12)

「働きかけ主体」：「行動前提」について「～したいから」と自分の願望を表す

「行動主体」：受け入れる

・「行動条件の伝達と理解」に関わる「待遇表現行為」

行為の開始：「働きかけ主体」 / 「行動主体」

相互行為：「行動条件」について具体的な情報を確認し合って「当然性」を固める

待遇効果：「行動」の負担が軽くなる

典型例：

「行動主体」：「行動条件」についての説明を促す

「働きかけ主体」：「行動条件」について説明し始める

・「働きかけ主体」から始める場合

● 会話 9 (T 9、10 - B 9、10)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「内容」について「テーマとかどうしようかなと思って」と自分の考えを表す

- 「行動主体」：「～たほうがいいのかという気もする」と自分の考えを表す
- 会話 1 4 (Z 1 5、1 6－M 1 5、1 6)
- 「働きかけ主体」：「行動条件」として相手の旅行目的地について情報要求する
- 「行動主体」：「ボンなんですよ」と情報提供する
- 会話 1 4 (M 1 6－Z 1 7)
- 「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「場所（この場合どこで買うか）」を決めるために「旅行もする？」と情報確認する
- 「行動主体」：「うん」と同意する
- 会話 1 4 (M 2 4～2 7－Z 2 6)
- 「行動主体」：「行動条件」の中の「場所（この場合どこで買うか）」を決めるために旅程を情報提供する
- 「働きかけ主体」：「そうなんだ」と新しい情報を受け入れる
- 会話 1 4 (M 3 6～3 8－Z 3 7)
- 「行動主体」：「働きかけ主体」に行動のいろいろな条件について「調べといてくださいよ」願する
- 「働きかけ主体」：「はい、私も調べて」と受諾する
- 会話 1 4 (Z 3 8～4 2－M 4 0～4 3)
- 「働きかけ主体」：「あと化粧品も調べて」と行動のための準備を宣言する
- 「行動主体」：「うん」と同意する（「行動」の負担を軽減する）
- 会話 1 4 (M 4 0～4 2－Z 3 9、4 0)
- 「行動主体」：「行動条件」の中の「場所（この場合どこで買うか）」を決めるために「デューティーフリー」では「ヨーロッパの化粧品は安そうだ」という考えを表す
- 「働きかけ主体」：「うんうん」「そうだね」と同意する
- ▲ 会話 1 4 (M 2 0～2 3－Z 2 1～2 3)
- 「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「場所（この場合どこで買うか）」を決めるために旅程について「Iさんがプラハに行きたいと言いだして」と情報提供する＋＜笑い＞
- 「行動主体」：「なんで？」＋＜笑い＞と質問する
- 会話 1 4 (Z 1 0－M 1 0)
- 「働きかけ主体」：＜笑い＞＋「行動条件」の中の一つ「どこ（この場合「どこで買う」）」「いくら（この場合「いくらで買う」）」について情報確認する
- 「行動主体」：「どうですかね」「ヨーロッパの製品なら安いかも」と自分の考えを表す
- 会話 1 4 (Z 2 8、2 9－M 2 9、3 0)
- 「働きかけ主体」：「行動条件」について確認する

「行動主体」：「たぶんできる」と推測したり、「～そんな雰囲気じゃないですか」と確認したりする

● 会話14 (Z 45-M 47、48)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ「どのように（この場合「ビールを買って飛行機で持って帰ってくる）」について「大丈夫なのかな」と確認する＋＜笑い＞

「行動主体」：＜笑い＞＋「行動条件」の中の一つ「量（この場合「ビールの量）」について条件を限定して同意する

● 会話15 (N 27～34-L 31～34)

「行動主体」：それまで「働きかけ主体」が説明してきた「行動条件」の中から、問題となった点「印象をどのように記述するのか」という点について確認する

「働きかけ主体」：「行動主体」が出した「記述する」ではなくて「話してもらおう」と情報を訂正する

「行動主体」：「わかりました」と了解する

● 会話17 (O 14～21-X 15～23)

「働きかけ主体」：「行動条件」について情報を確認し「当然性」を固めようとする。この場合、「行動条件」の中の一つ「いつ（この場合「撮影日）」について情報要求する。

「行動主体」：「今空いているのは～」と自分の情報を提供する

● 会話19 (b 13-a 15)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ（この場合「時間）」について都合を聞く

「行動主体」：都合を答える

● 会話20 (c 17-d 17)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ「何をするか（この場合、アンケートを書くときに他の書くこと）」について情報提供する

「行動主体」：了解する

▲ 会話1 (N 13～N 21)

「働きかけ主体」：「行動条件」の一つである「かかる時間」について情報提供する＋「どのようなことをするのか」を情報提供する

「行動主体」：言葉を言い換えて聞き返す

「働きかけ主体」：了解する

▲ 会話3 (E 46、47～U 47、48)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ「何時まで（この場合、ベビーシッターの終わりの時間）」について「行動主体」の都合を質問する

「行動主体」：「働きかけ主体」の都合を確認する

「働きかけ主体」：「行動主体」の提示した内容を否定して、自分の都合を示す

「行動主体」：「働きかけ主体」の都合を確認してから働きかけの最初の質問に答える

▲ **会話15** (N16～20-L16～20)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「どのくらい（この場合「読む作文の量」）について情報提供する

「行動主体」：「働きかけ主体」が出した情報を他の言葉で言い換えて確認する

「働きかけ主体」：「うん～枚で」と繰り返して了解する

・「行動主体」から始める場合

● **会話1** (K12-N12)

「行動主体」：「どういうー」で「行動条件」に関する情報要求を行う

「働きかけ主体」：「えっとね」と「行動条件」に関する情報提供を始める

● **会話1** (K23-N20)

「行動主体」：相手が出した「行動条件」について「～ではなくて」と比較しながら確認する

「働きかけ主体」：了解する

● **会話1** (K32-N30)

「行動主体」：「行動条件」を提案する

「働きかけ主体」：了承する

● **会話3** (U39-E40)

「行動主体」：「行動条件」の一つ「何をする（この場合「赤ちゃんにどんな世話をするか）」について「だめよね」と確認する

「働きかけ主体」：「大丈夫よ」と確認し、「～でもいい」と許可を与える

「行動主体」：「働きかけ主体」が提示した「行動条件」の中の問題点について「あ、ミルク」と繰り返して確認する

「働きかけ主体」：「行動主体」が出した問題点について詳しく説明する

「行動主体」：「わかった」と了解する

● **会話9** (T22-B23)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「行動の準備」についてどのくらい時間が必要か確認する

「行動主体」：「期待されているものによる」と「働きかけ主体」の考えを尊重する

● **会話9** (T25-B24～26)

「行動主体」：「働きかけ主体」だったらどのくらい準備するのか、「働きかけ主体」の考えを確認する

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「行動の準備」について、自分だったら「半日ぐらいで準備できるようなところ」と軽めに表す

● **会話15** (L13～15-N14、15)

「行動主体」：「行動条件」の説明を「書きますね」と理解の姿勢を見せる

「働きかけ主体」：「うん、あの一」と言って「行動条件」を話し始める

● **会話15** (L43～46-N46、47)

「行動主体」：「行動条件」の中の一つ「どのようにする（この場合「どのように作文を評価する）」について「～という感じになるわけよね？」と確認する

「働きかけ主体」：「そうですね、そんな感じで」と確認する

● **会話19** (b16～17-a19～20)

「行動主体」：自分で決めた「行動条件」を提示する

「働きかけ主体」：受け入れる

▲ **会話1** (N28、29-N25)

「行動主体」：「行動条件」のうち、「量」を確認する

「働きかけ主体」：「量」を伝える

「行動主体」：相手が提示した「量」を繰り返す

▲ **会話14** (Z11～13-M13、14)

「行動主体」：「行動条件」の中の一つ「どこ（この場合「どこで買う）」について情報要求する

「働きかけ主体」：「うーん」と言いよどみ「どうですかね」「でかそうですけど」と自分の考えを表す+「最近忙しくて調べていない」と自分の忙しい状況を表す

行為の開始：「働きかけ主体」
相互行為：「働きかけ主体」が「行動条件」の中の一つについて <u>代案がない</u> ことを示して確認する
待遇効果：相手の都合を尊重しないので「行動」の負担が重くなる
典型例： 「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つについて代案がないことを示す 「行動主体」：了解する

● **会話18** (D22～24-C21、22)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つについて、今のところ代案がないことを示す

「行動主体」：了解する



行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」

相互行為：「行動条件」について主観的な評価、自分の考え、推測として情報を確認し合って「当然性」を固める

待遇効果：「行動」の負担が軽くなる

典型例：

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つである「時間」について「2時間ぐらいで終わると思う」と考えを述べる

「行動主体」：受け入れる

● **会話10** (M10～12-Z12)

「働きかけ主体」：「行動主体」が持っている機種の新しいものが気に入っていると、自分の気持ちを表す+相手の持ち物へのほめ

「行動主体」：受け入れる

● **会話14** (M33-Z33)

「行動主体」：「行動条件」の中の一つ「何(この場合「何を買うか」)について「働きかけ主体」の希望を聞く

「働きかけ主体」：「化粧品も結構いいけど」と自分の考えを表す

● **会話14** (M44、45-Z44)

「行動主体」：「行動条件」の中の一つ「何(この場合「何を書くか」)について、「働きかけ主体」の好みを確認する

「働きかけ主体」：「好きだ」と同意するが、「行動条件」の中の一つ「どのように(この場合「どのように持ってくるか」)について「ビールを持って来られるのか」と疑問を提示する

「行動主体」：条件を限定して同意する(「当然性」を確認する)

● **会話15** (N21～23-L21、22)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ「量(この場合「読む量」)について、「短い」と表す

「行動主体」：「はい」と受け入れる

● **会話15** (N48～51-L48～51)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ「誰がするのか(この場合「作文を読んでコメントする人」)について、「～という人にやってもらおうかなー」と思っているんですよ」と自分の考えを述べる

「行動主体」：「そうですね、いいですね、へえー、おもしろそうね」と「働きかけ主体」の考えに感心し、面白そうと良い評価をする

● **会話15** (N52-L52)

「働きかけ主体」：「行動条件」のうち「かかる時間(この場合「調査にかかる時間」)について「1時間もかからない」と少なめに表現する

「行動主体」：「うんいいですよ」と了解する

● 会話19 (b10、11-a11、12)

「働きかけ主体」：「行動前提」として自分の願望や意思を表す

「行動主体」：受け入れる

● 会話20 (c2.8.~29-d2.8.~29)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ「行動の時期（この場合アンケートをする時期）」について、「そんなに急ぎじゃなくて」と負担を軽減しながら「5月中旬ぐらいまでと思っていたんだけど」と考えを述べて、「いい？」と許可を求める

「行動主体」：「いいです」と了解する

▲ 会話14 (M30、31-Z30)

「行動主体」：「行動条件」の可能性について「たぶんできる」と推測したり、「～そんな雰囲気じゃないですか」と確認したりする

「働きかけ主体」：「ああそうなんだ」と共感しない

「行動主体」：「働きかけ主体」に共感されなかったので「わかりません。私が勝手にそう思った」+<笑い>と情報の確実性を否定する

▲ 会話14 (M50、51-Z48)

「行動主体」：「行動条件」の中の一つ「質（この場合「日本で売っているビールと同じビール）」について、買ってきても意味がないと考えていることを表す

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ「質（この場合「ビールがぬるくなっている）」について冗談で話す+<笑い>

行為の開始：「行動主体」

相互行為：「行動主体が出した「行動条件」を取り上げて新しい「行動条件」を提案し、了解されて、「当然性」が高まる

待遇効果：「行動主体」の主体性が尊重され、「行動」の負担が軽減される

典型例：

「働きかけ主体」：「行動主体」が出した「行動条件」を取り入れて新しい「行動条件」を提案する

「行動主体」：了解する

▲ 会話9 (T17~21-B19~21)

「働きかけ主体」：相手と共有した情報を使って新しい「行動条件」を提案する

「行動主体」：「それでもいいけど、でもそうしたら～のほうがいいような気がしてきたけど」と「働きかけ主体」の提案を修正する+<笑い>

「働きかけ主体」：「行動主体」の修正案を一部認める

● 会話14 (M36～38-Z37)

「行動主体」：行動のための準備として行動に関することを「調べといてくださいよ」とお願いする

「働きかけ主体」：「はい、私も調べて」と受諾する＋「あと化粧品も調べて」と行動のための準備を宣言する

「行動主体」：「うん」と同意する

● 会話9 (T29、30-B30、31)

「働きかけ主体」：次の行動を確認する

「行動主体」：了解する

▲ 会話20 (d19～21-c20、21)

「行動主体」：「会社の方のメールに送ってくれますか？」と依頼することで、アンケートに答える行動の準備を始める

「働きかけ主体」：「それでいいですか」と相手の出した条件を確認する

「行動主体」：了解する

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「働きかけ主体」が「行動条件」について説明するときに、「行動主体」の動作には恩恵表現「てもらう」と使い、了解される

待遇効果：相手の行動により自分に返る恩恵を示す

典型例：

「働きかけ主体」：「働きかけ主体」が「行動条件」について説明するときに、「行動主体」の動作には「てもらう」と恩恵を持って依頼する

「行動主体」：了解する

● 会話1 (N22-K26)

「働きかけ主体」：「行動条件」を説明するときに、「行動主体」の行動には恩恵表現「てもらう」を使う

「行動主体」：了解する

● 会話15 (N23～41-L23～41)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つ「何をするのか（この場合「作文をどうするのか」）」について、「行動主体」の行動を説明するときに、「一読してもらって」「話してもらって」「チェックしてもらって」「言ってもらって」「読んでもらって」と恩恵を伴ってで情報提供する

「行動主体」：「うん」「はい」「ええ」「わかりました」で受け入れる

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「働きかけ主体」が「行動条件」について説明するときに、自分の動作

は「させてもらう」で許可を求め、了解される  
待遇効果 : 相手の行動により自分に返る恩恵を示す  
典型例 :  
「働きかけ主体」:「行動条件」について説明するとき、自分の動作には恩恵表現「させてもらう」と使う  
「行動主体」 : 了解する

・「働きかけ主体」から始める場合

● 会話 1 (N 2 3 - K 2 7)

「働きかけ主体」 : 「行動条件」を説明するとき、自分の行動には恩恵表現「させてもらう」を使う

「行動主体」 : 同意する

● 会話 1 5 (N 3 0 - L 3 0)

「働きかけ主体」:「行動条件」の中の一つ「何をするのか(この場合「作文をどうするのか」)」について、自分の行動を説明するとき、「録音をさせてもらいたいんですね」と自分への恩恵と自分の願望を伴って情報提供する

「行動主体」 : 「はい」と受け入れる

・「行動主体」から始める場合

● 会話 9 (B 1 5、1 6 - B 1 7)

「行動主体」 : 「行動条件」の中の「内容」について「～をやらせてもらうのでどうかと思うけど、そんなんでよければ」と恩恵を伴って仮定する

「働きかけ主体」:「そんなんで、ぜんぜん」と受け入れる

行為の開始 : 「働きかけ主体」 / 「行動主体」  
相互行為 : 「行動主体」が「行動条件」について助言し、了解される  
待遇効果 : 上下の役割の意識化 + 「行動」の負担が軽減される  
典型例 :  
「行動主体」 : 助言する  
「働きかけ主体」 : 受け入れる

● 会話 9 (B 2 8 - T 2 8)

「行動主体」 : 「行動条件」の中の一つ「いつするか(この場合「研究会」)」について「働きかけ主体」に助言する

「働きかけ主体」:「そうですね」と了解する

▲ 会話 1 4 (Z 8、9 - M 8、9)

「働きかけ主体」：「行動主体」に「行動条件」の中の一つ「何（この場合「何を買う」）  
について助言を求める

「行動主体」：「ドイツ？」と繰り返して「ビールとソーセージしか思いつかない」  
＋＜笑い＞と自分の考えを表す

・「相互の人間関係のつながり」に関する相互行為

行為の開始：「働きかけ主体」  
相互行為：謝罪して受け入れられる  
待遇効果：相互の関係がつながる  
典型例：  
「働きかけ主体」：「働きかけ」でかけた負担について謝罪する  
「行動主体」：受け入れる

● 会話 19 (b1 2 - a1 3)

「働きかけ主体」：「働きかけ」でかけた負担について謝罪する  
「行動主体」：受け入れる

● 会話 19 (b1 5 - a1 8)

「働きかけ主体」：「働きかけ」でかけた負担について謝罪する  
「行動主体」：受け入れる

行為の開始：「働きかけ主体」  
相互行為：御礼をして受け入れられる  
待遇効果：相互の関係がつながる  
典型例：  
「働きかけ主体」：「働きかけ」を受けてくれたことに御礼する  
「行動主体」：受け入れる

● 会話 20 (c 2 5、2 6 - d 2 5、2 6)

「働きかけ主体」：「ありがとう」、「助かる」と御礼する  
「行動主体」：了解する

行為の開始：「働きかけ主体」  
相互行為：「働きかけ主体」が会話の最後に「お願いします」と働きかけて、受け  
入れられる  
待遇効果：「働きかけ主体」の主体性が尊重される  
優先的応答例：  
「働きかけ主体」：「お願いします」

「行動主体」：受け入れる

● 会話 1 9 (b1 8 - a2 1)

「働きかけ主体」：受諾の後、再度「お願いします」と念を押す

「行動主体」：受け入れる

**「調整箇所 7 話し終え」に見られる「待遇表現行為」**

・「働きかけ－働きかけられ」に関する「待遇表現行為」

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：今回の自分の働きかけを、他の人にも伝聞してほしいと依頼したところ、受け入れられる

待遇効果：「行動」の負担が重くなる

典型例：

「働きかけ主体」：今回の自分の働きかけを、他の人にも伝聞してほしいと依頼する

「行動主体」：承諾する

● 会話 1 2 (P 5 2 ~ 5 4 - G 5 5)

「働きかけ主体」：「行動主体」だけでなく、「行動主体」と同じグループみんなへの働きかけであることを言う

「行動主体」：「わかりました」と受け入れる

● 会話 1 2 (P 5 5、5 6 - G 5 6、5 7)

「働きかけ主体」：依頼内容を他の人に「伝えてほしい」と明示的に依頼する＋＜笑い＞

「行動主体」：＜笑い＞＋「わかりました」と受け入れる

・「相互の人間関係のつながり」に関する相互行為

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：受諾された後、会話の後の両者のつながりを「よろしく」、「また連絡します」などで示し、承諾される

待遇効果：相互の関係がつながる

典型例：

「働きかけ主体」：会話の後の展開を示す（「よろしく」、提案など）

「行動主体」：受け入れる

- **会話1** (N 3 3 ~ K 3 8)
  - 「働きかけ主体」: 「よろしく」 + 次の行動について提案する
  - 「行動主体」: 「声かけて」と次の行動を促す
- **会話1** (N 4 0 - K 4 3)
  - 「働きかけ主体」: 「よろしく」
  - 「行動主体」: 「はいはい」と了解する
- **会話2** (Y 2 6 - F 2 6)
  - 「働きかけ主体」: 「また連絡します」と言う
  - 「行動主体」: 受け入れる
- **会話3** (E 5 6 - U 5 7)
  - 「働きかけ主体」: 次の行動について提案する
  - 「行動主体」: 了解する
- **会話3** (U 5 7 - U 5 8)
  - 「行動主体」: 次の行動について提案する
  - 「働きかけ主体」: 了解する
- **会話5** (Y 3 5 ~ 3 9 - F 3 6 ~ F 4 0)
  - 「行動主体」: 「何とかならないんだっと思ったら言って」と「行動前提」が修正できない場合は受諾することを示す
  - 「働きかけ主体」: 「わかった」と了解する
- **会話6** (H 3 5 - X 3 1、3 2)
  - 「行動主体」: 次の行動を申し出る
  - 「働きかけ主体」: 了承する
- ▲ **会話7** (K 4 5 - J 4 8)
  - 「働きかけ主体」: 自分で行動することに決める
  - 「行動主体」: 自分から行動を申し出る
- **会話8** (H 4 6 - W 4 5)
  - 「働きかけ主体」: 次の行動について提案する
  - 「行動主体」: 了解する
- **会話9** (T 3 2 - B 3 3)
  - 「働きかけ主体」: 「行動条件」の中の一つ「内容(この場合「話すテーマ」)について、  
「もう少しあったらテーマを相談するということで」と提案する
  - 「行動主体」: 受け入れる
- **会話9** (T 3 3 - B 3 4)
  - 「働きかけ主体」: 「メールかなんかでまた連絡すると思うんで」と連絡方法を示す
  - 「行動主体」: 受け入れる
- **会話9** (B 3 4 ~ 3 7 - T 3 6)

「行動主体」：「行動条件」の中の一つ「誰と行動する」についての自分の考えを「～といいかなと思いますので」と表す

「働きかけ主体」：了解する

● 会話10 (Z 33、34-M35)

「行動主体」：「今度学校でまた時間を合わせる」と次の行動を提案する

「働きかけ主体」：「行動主体」の提案に答えて「明日行きます」と自分の次の行動を宣言する

● 会話10 (Z 97-M99~101)

「行動主体」：「来週ぐらい」と次の行動を提案する

「働きかけ主体」：「行動主体」の提案に同意して「うん、来週の頭とかに」と次の行動を提案する

● 会話13 (H50-R51)

「働きかけ主体」：「よろしく」

「行動主体」：「はい」と了解する

● 会話13 (H51-R52)

「働きかけ主体」：行動を「手伝うから」と申し出る

「行動主体」：「はい」と了解する

● 会話12 (G57-G58)

「働きかけ主体」：「お願いします」＋〈笑い〉（働きかける）

「行動主体」：「はい」と了解する（相手とつながる）

● 会話12 (P59-G60)

「よろしく」

「行動主体」：「はい」と了解する

● 会話14 (Z51-M54)

「働きかけ主体」：「お願いします」（働きかける）

「行動主体」：「はい」と了解する（「当然性」の高さを示す）

● 会話14 (Z49、50-M52、53)

「働きかけ主体」：「行動条件」について「調べておく」「いい情報があったら教えてください」と次の行動を宣言する

「行動主体」：「私も」と「働きかけ主体」の宣言に答えて自分も行動することを宣言する

● 会話15 (N53~55-L53、54)

「働きかけ主体」：「改めて連絡させてもらいます」と許可求めて表す

「行動主体」：「はい、そうですね」と受け入れる

● 会話15 (L55、56-N57)

「行動主体」：「行動条件」の中から「いつ（この場合「調査の実施時期」）」



について、夏休みになるかどうか確認する

「働きかけ主体」：「なっちゃいますね」と残念な気持ちを表しながら同意する

「行動主体」：「いいですよ」と許与えで表現する

● 会話15 (L58、59-N59、60)

「行動主体」：行動をする時期の自分の状況を報告し、お盆以外はうちにいるので連絡してくださいと働きかける

「働きかけ主体」：「はい」と了解する

● 会話15 (N66-L66)

「働きかけ主体」：「よろしくお願いします」と言う

「行動主体」：「わかりました」と了解する

● 会話15 (N60、61-L61~63)

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の「いつ（この場合「いつ調査するか）」について、「行動主体」の都合を聞く＋＜笑い＞

「行動主体」：＜笑い＞＋何も考えていない＋でも大丈夫＋同時に他の用事も作ると状況を保証する

● 会話16 (V80、81-T83、84)

「働きかけ主体」：「よろしく」

「行動主体」：「はいはい」と了解する

● 会話17 (O22-X24)

「働きかけ主体」：「改めてメールを送る」と会話の後の展開を示す

「行動主体」：「はいわかりました」と受け入れる

● 会話18 (C24、26-D25-27)

「行動主体」：「夕方にお願いします」と次の行動をお願いする

「働きかけ主体」：了解する

● 会話19 (b19-a22)

「働きかけ主体」：「また連絡します」と会話の後の展開を示す

「行動主体」：受け入れる

● 会話20 (c31-d31)

「働きかけ主体」：「後で（アンケートを）送りますね」と次の行動を申し出る

「行動主体」：了解する

▲ 会話13 (R53-H53)

「行動主体」：「何でも聞きますので」と宣言する

「働きかけ主体」：「うん、いや、聞くな」と受け入れない

「行動主体」：＜笑い＞（冗談を伴って相手と関係がつながる）

行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」

相互行為：謝罪して受け入れられる

待遇効果：相互の関係がつながる

典型例：

- 「働きかけ主体」：「ごめんね」と「働きかけ」でかけた負担について謝罪する  
「行動主体」：受け入れる

・「働きかけ主体」から始める場合

- 会話2 (Y 27-F 27)

「働きかけ主体」：「すみません」と謝罪する＋「ありがとう」と御礼を言う

「行動主体」：受け入れる

「働きかけ主体」：謝罪する＋御礼を言う

「行動主体」：受け入れる

- 会話4 (S 26-A 26)

「働きかけ主体」：「私はだいじょうぶ」と表現する

「行動主体」：「悪い」と謝罪する

- 会話4 (S 29-A 29)

「働きかけ主体」：「ごめん」「悪いね」と謝罪する

「行動主体」：受け入れる

- 会話5 (F 45-Y 45)

「働きかけ主体」：「ごめんね」と謝罪する

「行動主体」：「ううん、全然」と受け入れる

- 会話12 (R 84-H 85)

「働きかけ主体」：＜笑い＞＋「わかりました」と助言を了解する＋「すみません」と謝罪する＋「そんな感じです」と話をまとめる

「行動主体」：受け入れる＋「がんばって」を励ます

「働きかけ主体」：「はい、がんばります」と励ましを受け入れる

- 会話17 (O 23-X 25)

「働きかけ主体」：「働きかけ」でかけた負担について「すみません」と謝罪する

「行動主体」：「わかりました」と受け入れる

- 会話18 (C 23-D 25)

「働きかけ主体」：「働きかけ」でかけた負担について「すみません」と謝罪する

「行動主体」：受け入れる

- 会話20 (c 30-d 30)

「働きかけ主体」：「すいません、忙しいところ」と相手の状況に配慮して謝罪する

「行動主体」：「いーえー」と了解する

- ▲ (c 30-d 30)

「働きかけ主体」:「忙しいところごめんなさい」と相手の状況に配慮して謝罪する  
「行動主体」: (不明)

・「行動主体」から始める場合

● 会話4 (S 2 6 - A 2 7)

「行動主体」:「悪い」と謝罪する

「働きかけ主体」:「とんでもない」と受け入れる

● 会話15 (N 6 5 - L 6 5)

「行動主体」:「すみませーん」と謝罪する

「働きかけ主体」:「うんうんはいはい」と受け入れる

行為の開始:「働きかけ主体」

相互行為:御礼をして受け入れられる

待遇効果:相互の関係がつながる

典型例:

「働きかけ主体」:「働きかけ」を受けてくれたことに御礼する

「行動主体」:受け入れる

● 会話2 (Y 2 7 - F 2 7)

「働きかけ主体」:「すみません」と謝罪する+「ありがとう」と御礼を言う

「行動主体」:受け入れる

「働きかけ主体」:「謝罪する」+「御礼を言う」(負担を軽減する+恩恵を示す)

「行動主体」:受け入れる

● 会話3 (E 5 9 - U 6 0)

「働きかけ主体」:「ありがとう、ほんとに」と御礼を言う

「行動主体」:「いえいえ」と否定で受け入れる

「働きかけ主体」:御礼を言う

「行動主体」:「いえいえ」と否定で受け入れる

● 会話4 (S 2 5 - A 2 5)

「働きかけ主体」:「あなたのお陰で以前助かった」ことを表現する

「行動主体」:「行ければいいんだけど」と断りを後悔する

● 会話7 (K 5 4 - J 5 7)

「働きかけ主体」:「どうもありがとね」と御礼を言う

「行動主体」:「いえいえ」と否定で受け入れる

● 会話8 (H 4 7 - W 4 6)

「働きかけ主体」:「ありがとうね」と御礼を言う

「行動主体」:「いえいえ」と否定で受け入れる

● **会話13** (H55、56-R56)

「働きかけ主体」：「ありがとね」と御礼を言う

「行動主体」：「はい」と受け入れる

「働きかけ主体」：「ありがと」と御礼を言う 「働きかけ主体」：御礼を言う

「行動主体」：「はい」と受け入れる

● **会話20** (c32-d32)

「働きかけ主体」：「ほんとどうもありがとうございます」と御礼する

「行動主体」：了解する

行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」

相互行為：別れの挨拶をし合う

待遇効果：相互の関係がつながる

典型例：

「働きかけ主体」：別れの挨拶をする

「行動主体」：受け入れる

「行動主体」：別れの挨拶をする

「働きかけ主体」：受け入れる

・働きかけ主体から始める場合

● **会話5** (F47、48-Y47)

「働きかけ主体」：「じゃ」と挨拶する

「行動主体」：挨拶する

● **会話12** (P60-G62)

「働きかけ主体」：「それじゃね」と別れの挨拶をする

「行動主体」：「失礼します」と別れの挨拶をする

● **会話14** (Z52、53-M56)

「働きかけ主体」：「じゃ」「ばいばい」と別れの挨拶をする

「行動主体」：「はい」と受け入れる

● **会話16** (T29)

「働きかけ主体」：「じゃ」で次の行動の確認に入る

「行動主体」：「はい」で了解する

● **会話17** (O23-X25)

「働きかけ主体」：「失礼します」と別れの挨拶をする

「行動主体」：「失礼します」と別れの挨拶をする

● **会話20** (c34-d34)

「働きかけ主体」：「じゃ失礼します」と別れの挨拶をする

「行動主体」：「はいどもー」と別れの挨拶をする

・行動主体から始める場合

●**会話11** (H86～87-R86)

「行動主体」：「じゃーね」「ばいばい」と別れの挨拶をする

「働きかけ主体」：「失礼します」と別れの挨拶をする

●**会話14** (M54-Z52)

「行動主体」：「じゃ、また」と言う

「働きかけ主体」：「じゃ」と受け入れる

●**会話19** (b16～17-a19～20)

「行動主体」：「どもー失礼します」と別れの挨拶をする

「働きかけ主体」：「じゃーね」と別れの挨拶をする